



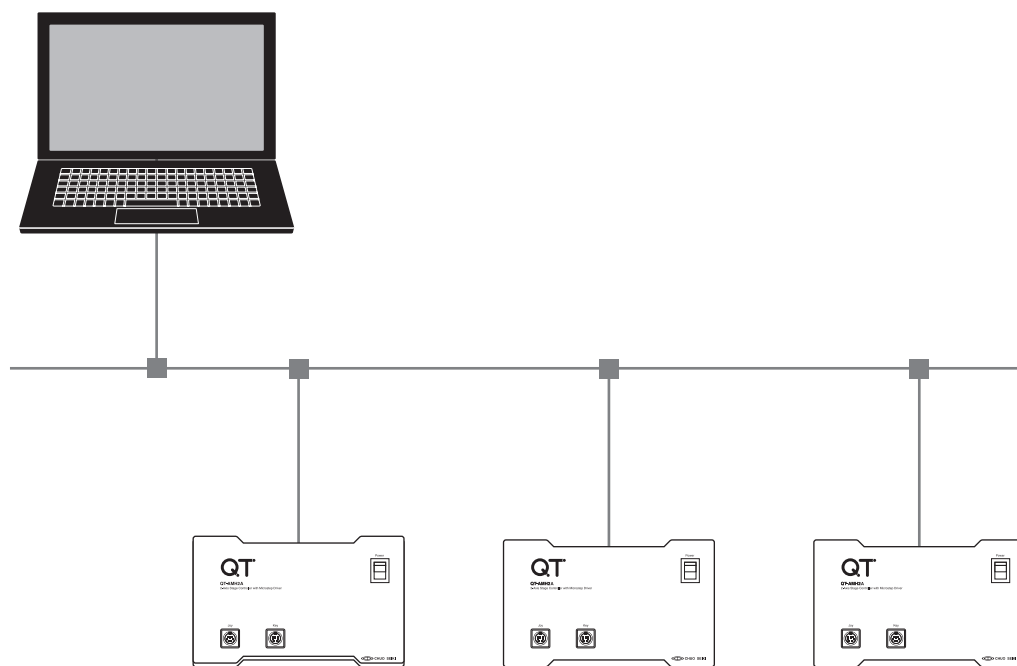
QT-ADM2/QT-AMH2A/QT-ADM3

LAN 設定ガイド

QT-Aコントローラ取扱説明書 [別冊]

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとも大切に保管し、必要なときにご活用ください。



CHUO PRECISION INDUSTRIAL CO., LTD.

はじめに

■ 概要

QT-AMH2A、QT-AMH2A-35、QT-ADM2、QT-ADM2-35、QT-ADM3、QT-ADM3-35 に標準搭載されている LAN (Ethernet) ポートインターフェースには、米国 LANTRONIX 社製 XPort-03 を使用しています。

LAN ポートの設定・変更には、同社の Web manager (Device Server Configuration Manager) を、仮想 COM ポートの設定には、同社の Com Port Redirector を使用します。

Com Port Redirector を動作可能にするためには、Microsoft 社の Microsoft .NET Framework 2.0 のインストールが必要です。

また、Web manager (Device Server Configuration Manager) を使用するには、インターネットエクスプローラ 6.0 以上のブラウザが必要です。

これらはすべて、Windows の環境下でのみ動作いたします。当社では WindowsXP、WindowsVista でのみ動作確認を行っており、他の OS での動作確認は行っておりません。他の OS を使用される場合や Web manager と Com Port Redirector を使用せず設定する場合は、お客様の自己責任でお願いします。なお、その際のお問い合わせやサポートには一切応じられませんので、あらかじめご了承ください。

● Windows、および Microsoft .NET Framework 2.0 は、米国 Microsoft 社の登録商標です。

● Web manager および Com Port Redirector は、米国 LANTRONIX 社の登録商標です。

⚠ 注意

本書に記載された内容は、お客様がご使用のパソコンと QT-A コントローラを LAN で接続し、QT-A コントローラを制御するための必要最小限の方法を記載しています。

LAN 接続には、ネットワーク管理に関する専門的な技術が必要です。XPort-03 を利用したネットワークの構築やインターネット経由での接続、説明書に記載されていない方法での設定変更や応用については、お客様の自己責任でお願いします。

なお、その際のお問い合わせやサポートには一切応じられません。また、本書に記載されていない方法での設定変更の結果、動作不良や設定の修復できなくなった場合、保証の対象外となるばかりでなく、修理をお引き受けできないことがございます。あらかじめご了承ください。

■ 目次

はじめに.....	2
■ LAN インターフェース接続と各機器の設定について	3
■ インストールの手順	4
1 Microsoft .NET Framework 2.0 のインストール	5
2 CPR Manager のインストール	9
3 パソコンのネットワーク設定	15
4 仮想 COM の設定	20
5 ターミナルでの接続確認	29
6 QT-A コントローラを 2 台以上接続する場合	34
WEB マネージャ (Device Server Configuration Manager) で、 IP アドレスを変更する際のご注意	45
7 仮想 Com ポートの削除	46
8 ボーレート変更	49

■ LAN インターフェース接続と各機器の設定について

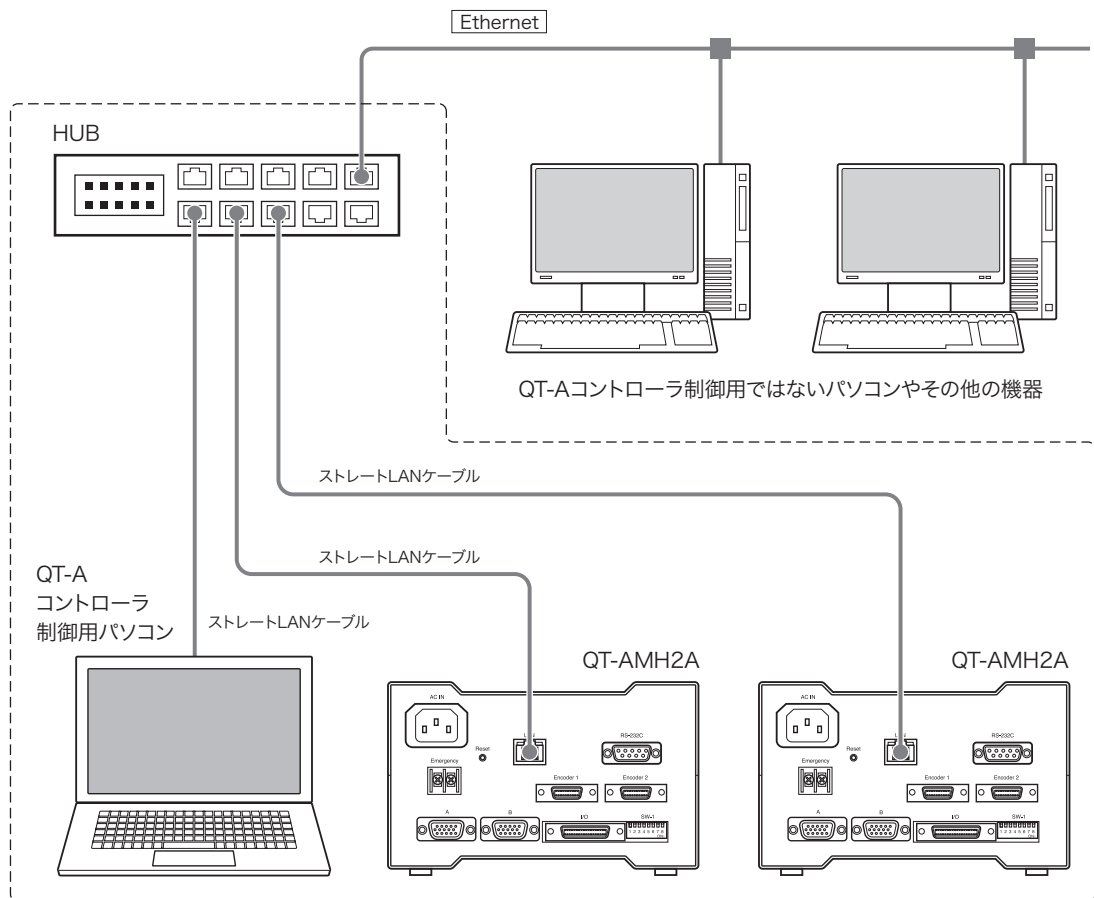
本書では、下記接続図の点線内の接続と設定について解説してあります。同じネットワークに繋がる他の機器（点線外の機器など）については、当社では関知致しません。

下記接続図の点線内において、接続されているパソコンと QT-A コントローラの IP アドレスの設定方法について説明いたします。

⚠ 注意

本書に記載されている以外の方法で IP アドレスの設定を行った場合や QT-A コントローラ以外のネットワーク機器が接続された場合は、当社の責任範囲外とさせていただきます。また、設定方法に関するお問い合わせや質問、サポートやネットワーク構築の要請については、一切対応できませんので、あらかじめご了承ください。

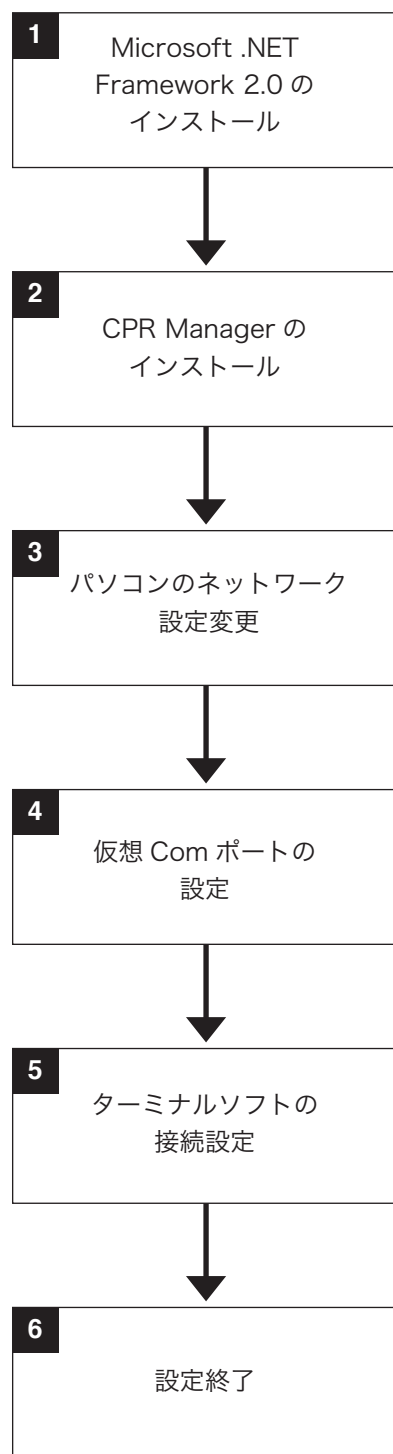
また、使用するパソコン、HUB についても同様とさせていただき、動作を保証するパソコンや HUB の機種推奨も行いません（パソコンメーカー、HUB メーカーにお問い合わせください）。



■ インストールの手順

Microsoft .NET Framework 2.0 と Com Port Redirector は付属 CD-ROM 内にそれぞれのフォルダ毎に収納されています。

次の流れで LAN ポートを使用可能にする設定を行います。



1 Microsoft .NET Framework 2.0 のインストール

Microsoft .NET Framework 2.0 のインストールを行います。LAN ポートを使用するには「Microsoft .NET Framework 2.0」が必要です。

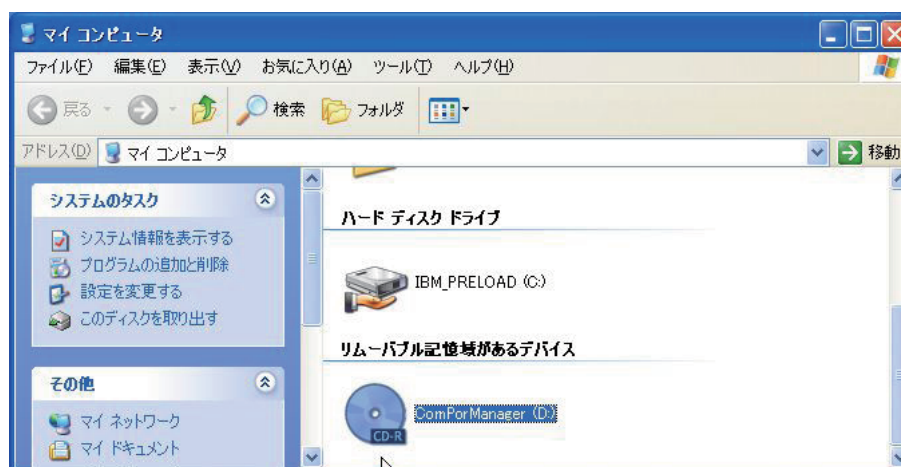
⚠ 注意

Microsoft .NET Framework 2.0 以外のバージョンでは動作いたしません。安易に上位のバージョンにバージョンアップしないでください。上位バージョンにバージョンアップした場合、上位バージョンが削除できなくなるばかりでなく、2.0 のバージョンの再インストールもできなくなる恐れがありますのでご注意ください。Microsoft .NET Framework についてのご質問、サポートは Microsoft 社にお問い合わせください。当社ではご質問、サポートには応じられませんので、あらかじめご了承ください。

① スタートメニューからマイコンピュータを選択しクリックします。



② CD-ROM のドライブを選択しダブルクリックします。



- ③ 付属 CD-ROM の「Microsoft .NET Framework 2.0」のフォルダをダブルクリックします。



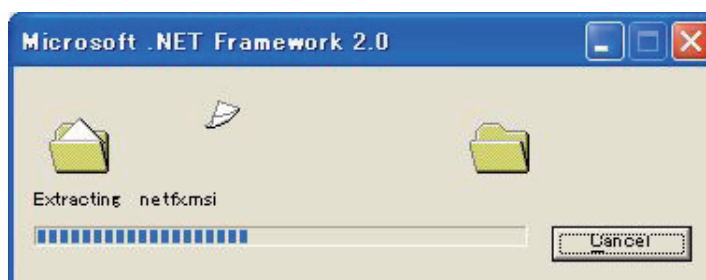
- ④ 「dotnetfx」をダブルクリックします。



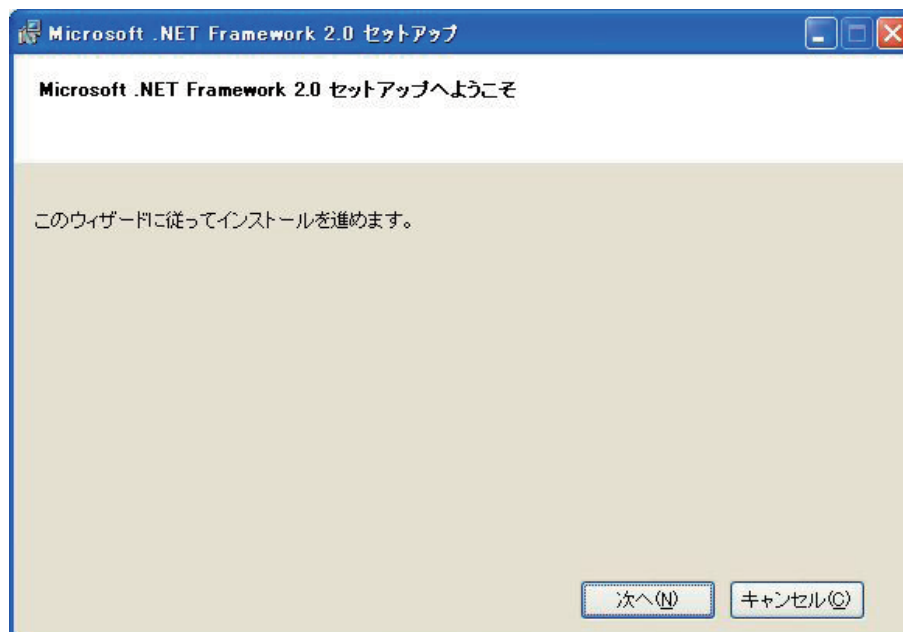
Windows Vista の場合、すでに Framework がインストール済みであるメッセージが表示されることがあります。

このような場合は、画面の表示に従い Framework のインストールを中止してください。(この場合 Framework 2.0 は不要です。)

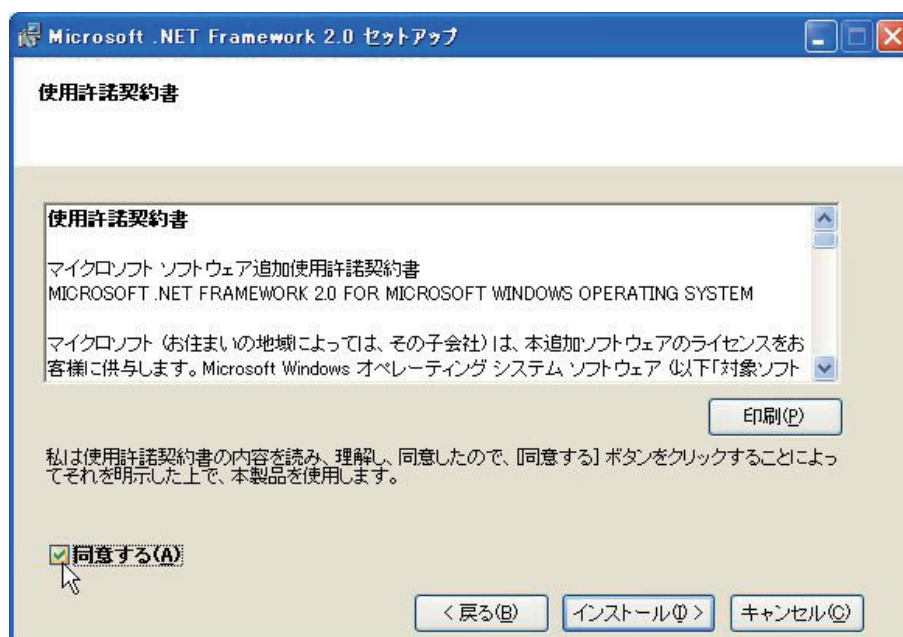
- ⑤ ファイルの自動解凍が始まります。



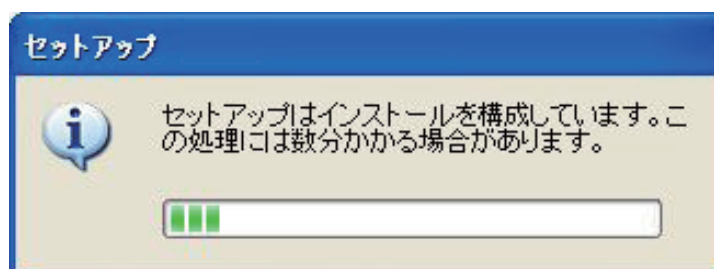
⑥ インストールの開始メッセージが表示されます。



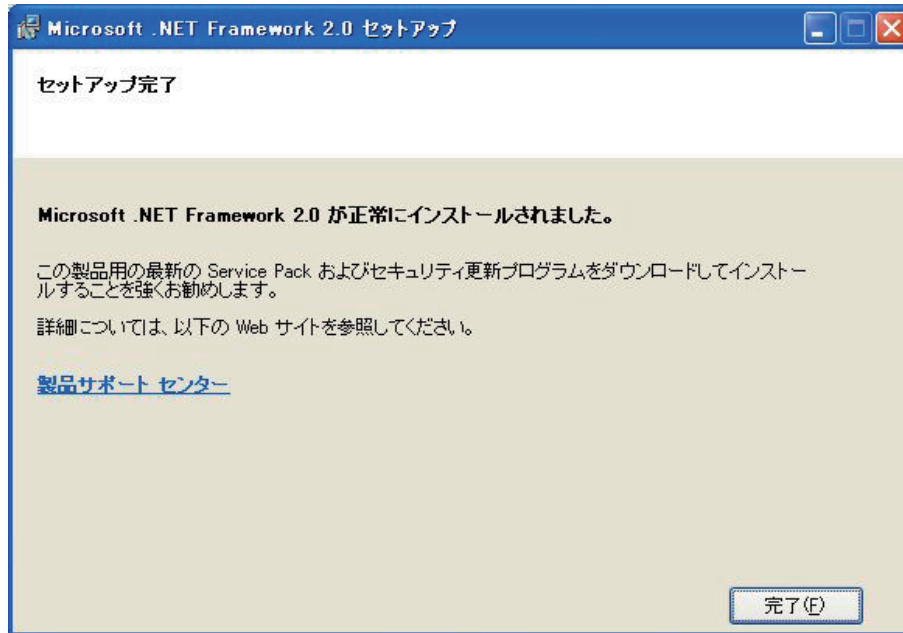
⑦ 使用許諾契約書を読み、「同意する (A)」をチェックし、「インストール」をクリックします。



⑧ インストールが始まります。



⑨ Microsoft .NET Framework 2.0 のインストール終了画面が表示されます。



以上で「Microsoft .NET Framework 2.0」のインストールは終了です。

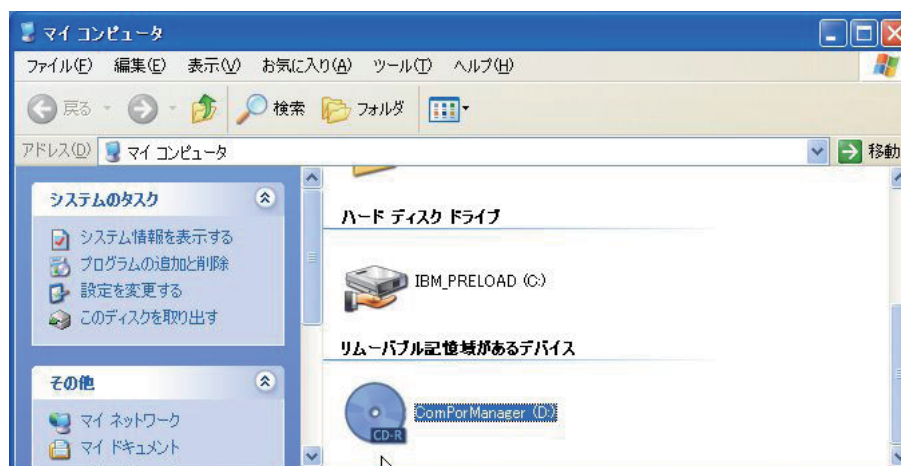
2 CPR Manager のインストール

Com Port Redirector (CPR) Manager をインストールします。

- ① スタートメニューからマイコンピュータを選択しクリックします。



- ② CD-ROM のドライブを選択しダブルクリックします。



- ③ CPR Manager のフォルダを選択しダブルクリックします。



- ④ 「CprDotNetDL4.1.0.2_Web」のアイコンをダブルクリックします。



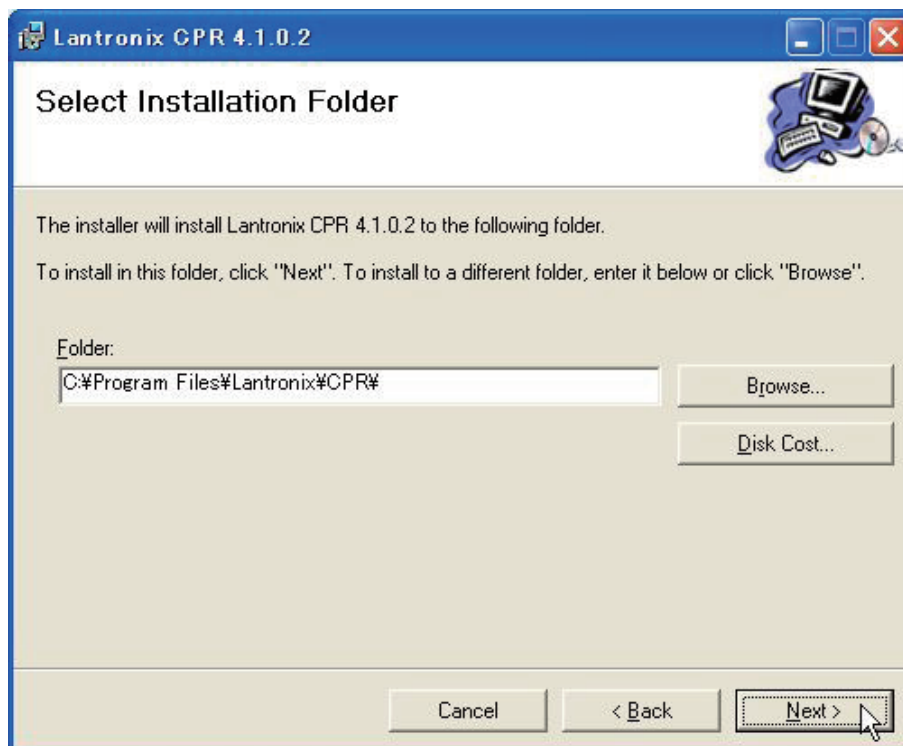
- ⑤ インストールウィザードが起動し、インストール用ファイルの保存先を指定するメッセージが表示されますので、「Next」をクリックします。
別の場所に保存する場合は保存先を指定してから「Next」をクリックします。



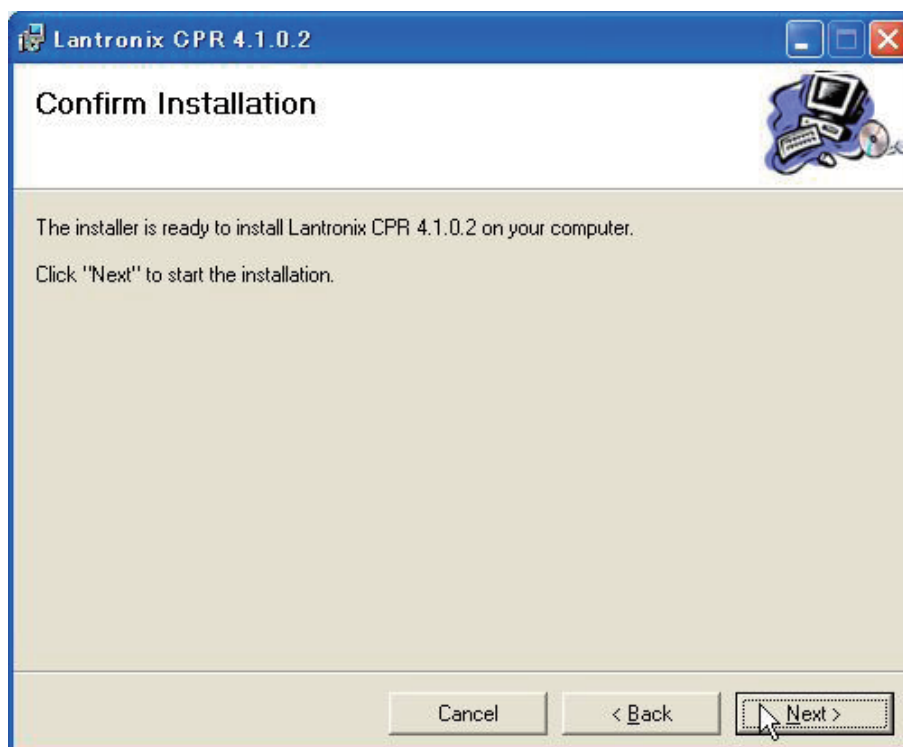
- ⑥ CPR Manager のセットアップウィザードが起動しますので、「Next」をクリックします。



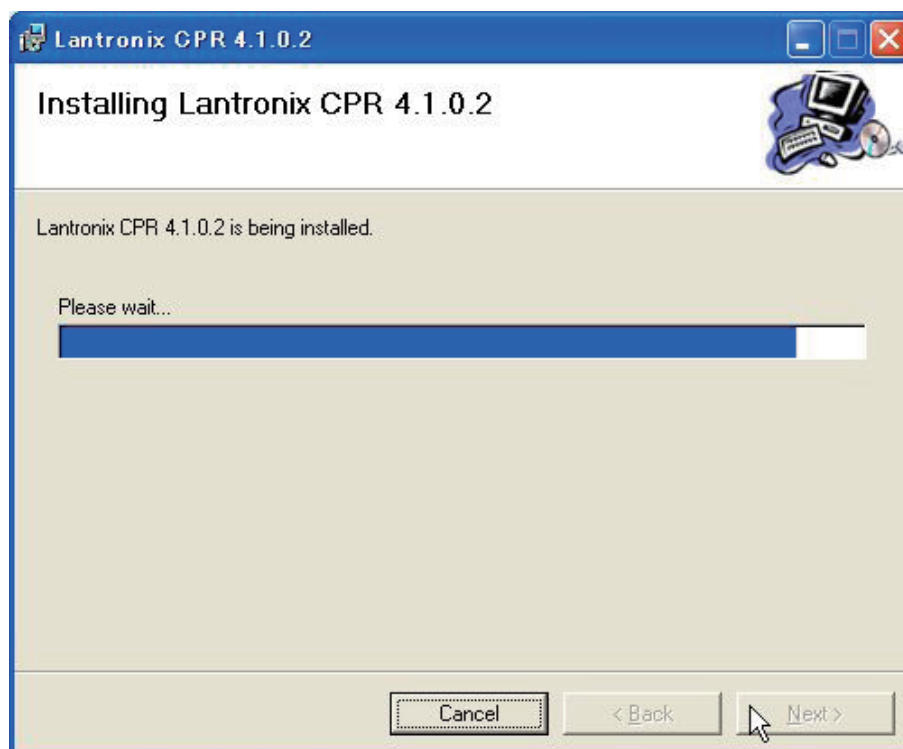
- ⑦ CPR Manager のインストール先を指定するメッセージが表示されますので、「Next」をクリックします。
別の場所にインストールする場合、場所を指定してから「Next」をクリックします。



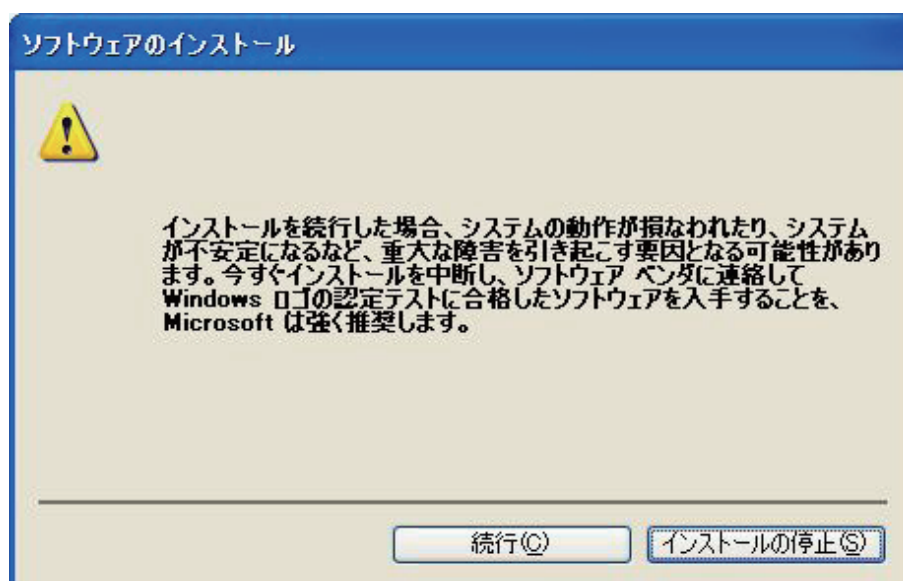
- ⑧ インストールを開始するメッセージが表示されますので、そのまま「Next」をクリックします。



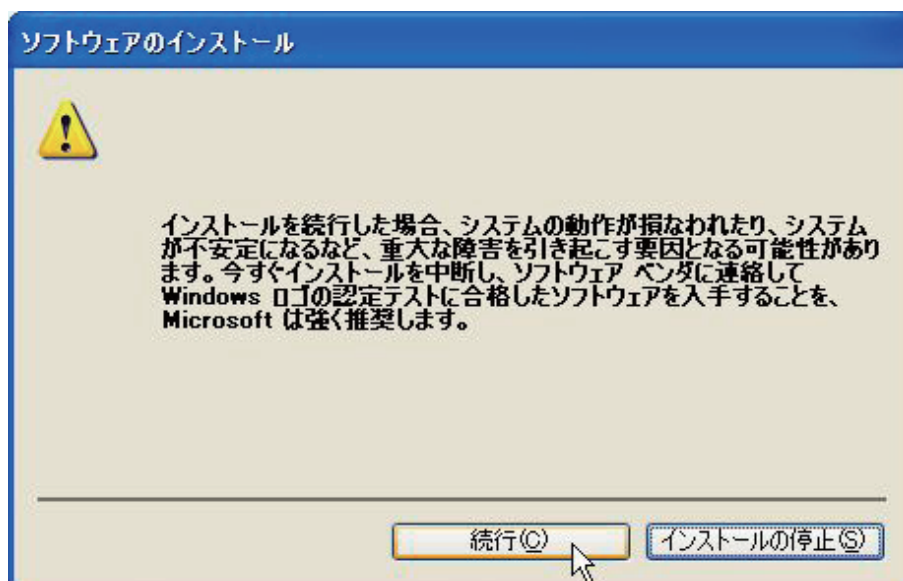
- ⑨ インストールが始まります。次のメッセージが表示されるまでしばらくお待ちください。



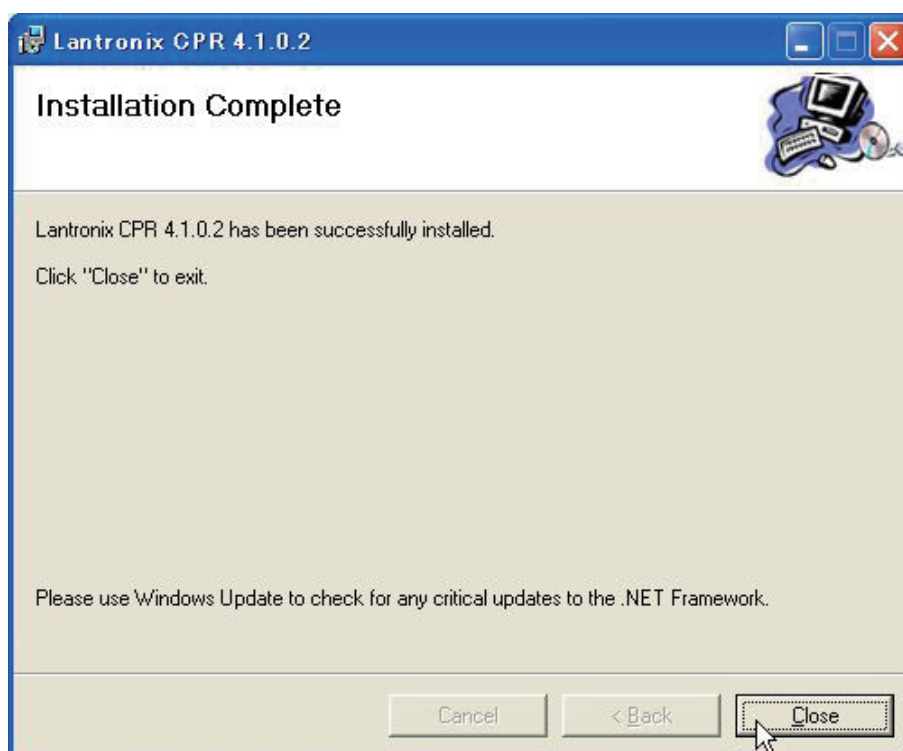
- ⑩ 次のメッセージが表示されます。内容を確認して「続行」をクリックします。



- ⑪ 再び同じメッセージ表示されます。「続行」をクリックします。



- ⑫ インストールが完了したメッセージが表示されますので、「Close」をクリックします。



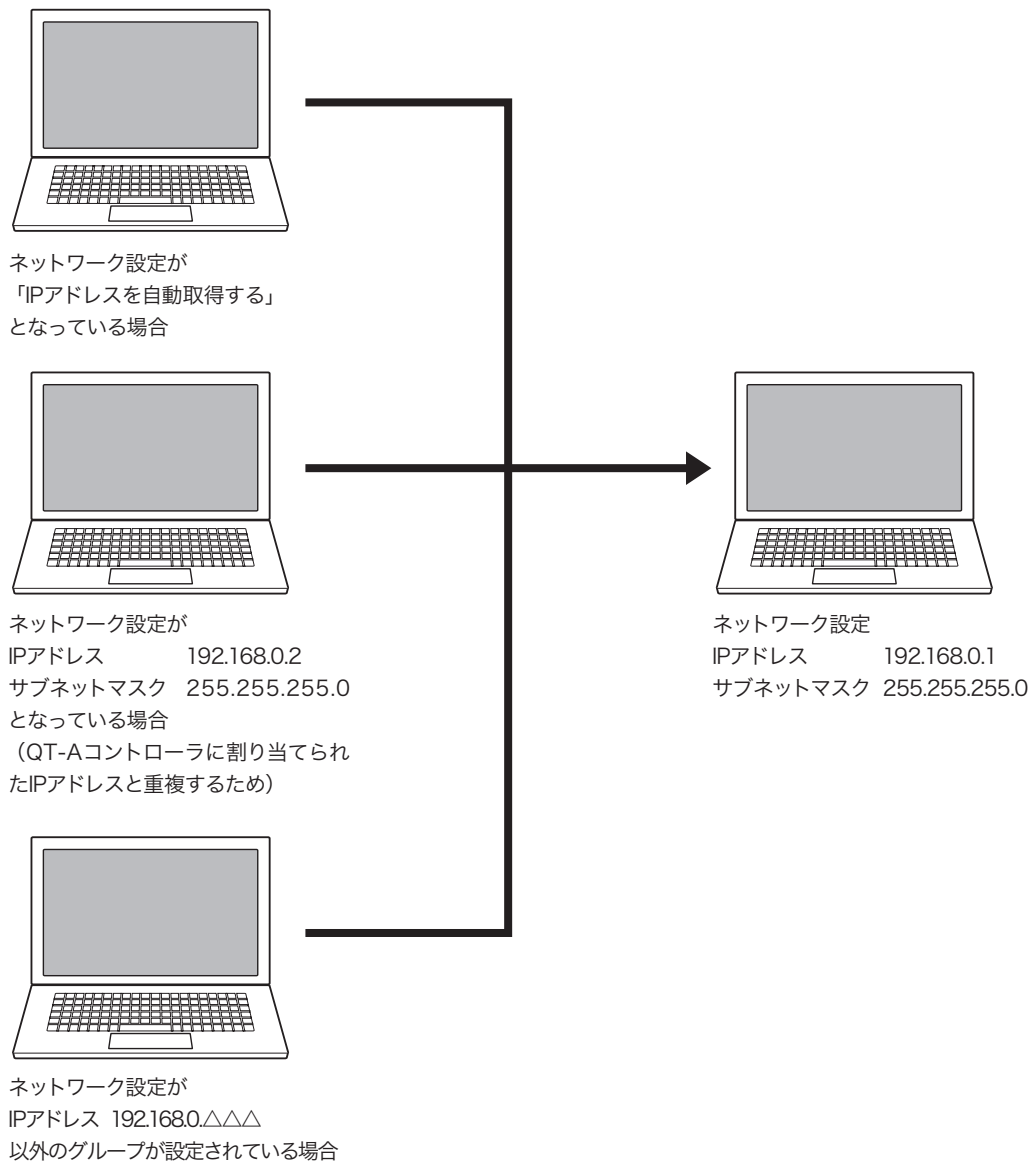
以上で CPR Manager のインストールは終了です。

3 パソコンのネットワーク設定

QT-ADM2、QT-ADM2-35、QT-AMH2A、QT-AMH2A-35、QT-ADM3、QT-ADM3-35 に搭載されている LAN ポート (XPort-03) のネットワーク設定は、以下の設定を行い出荷されています。

IP アドレス 「192.168.0.2」
サブネットマスク 「255.255.255.0」

コントローラの制御に使用するパソコンのネットワーク設定が下図 (左側) の設定になっている場合、そのパソコンのネットワーク設定を変更する必要があります。



QT-A コントローラを LAN ポートから制御するために、制御に使用するパソコンのネットワーク設定を以下の手順で変更してください。

ネットワークの設定には専門的な知識が必要です。ネットワーク管理者がいない場合、独自の設定が不要な環境でお使いの場合、ネットワークについてよく分からない場合は、以下の「設定例」と同じ設定を行ってください。安易に「設定例」以外の設定にすることは避けてください。

⚠ 注意

本書に記載されている「設定例」以外に設定した結果、接続や動作に不具合が発生した場合、当社はネットワークに関する一切のサポートやお問い合わせには応じられませんので、あらかじめご了承ください。

ここでは、制御に使用するパソコンの IP アドレスを「192.168.0.1」に設定する場合の「設定例」で説明いたします。

IP アドレスに同じアドレスを使用することはできません（同一 IP アドレスが複数存在すると正常に接続できなくなります）。

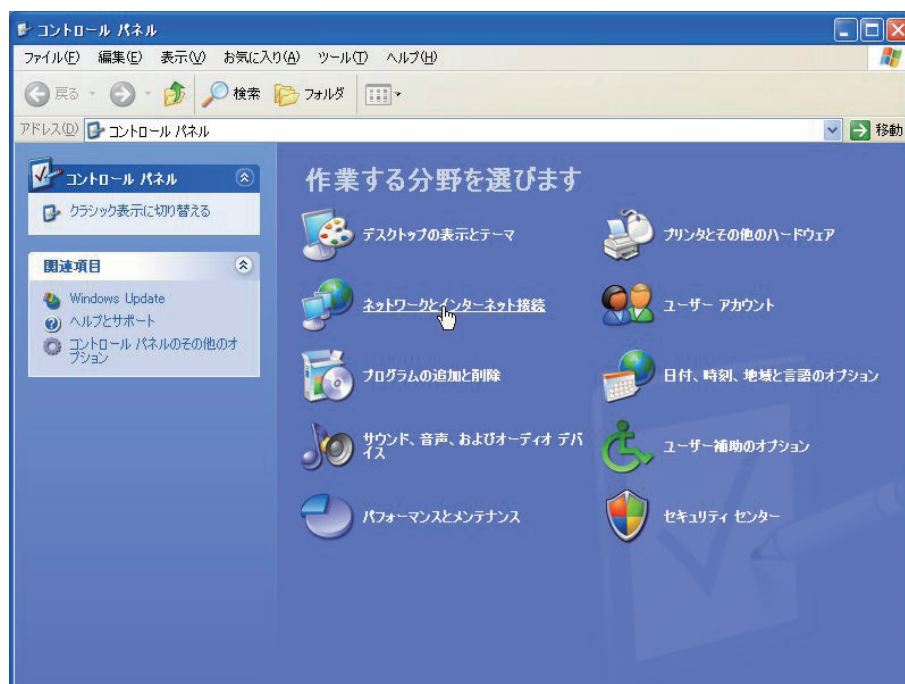
また、IP アドレスは同一グループの「192.168.0. △△△」にしてください（192.168.0 の部分が同一となるようにしてください）。

変更できる部分は「△△△」で、設定できる範囲は「0 ～ 254」です。

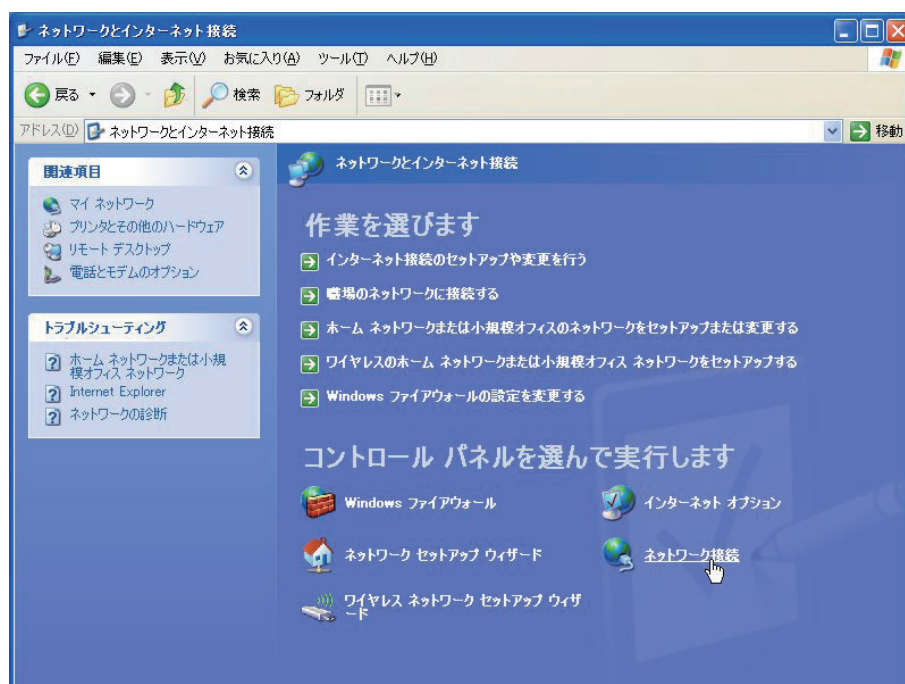
① スタートメニューからコントロールパネルを選択しクリックします。



② 「ネットワークとインターネット接続を選択しクリックします。



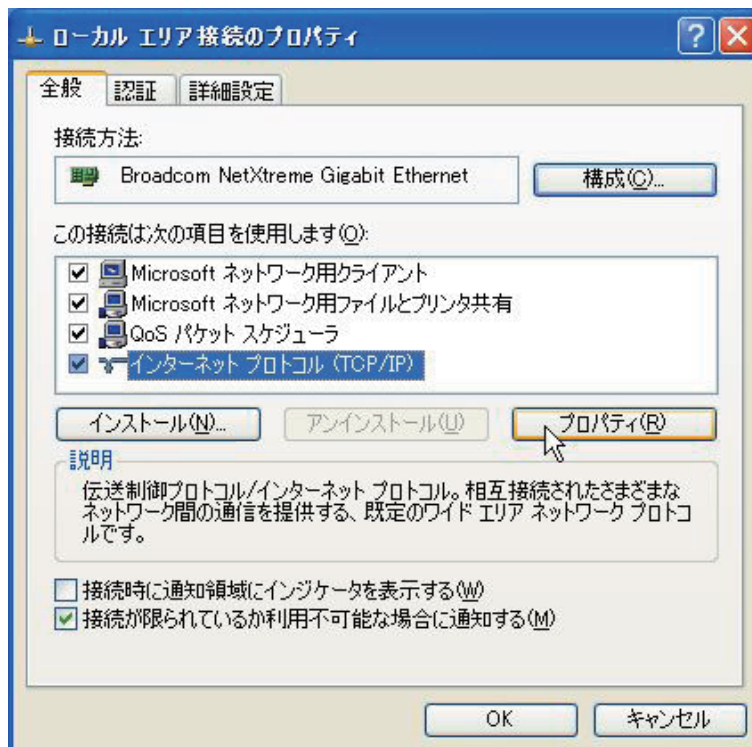
③ 右下のネットワーク接続を選択しクリックします。



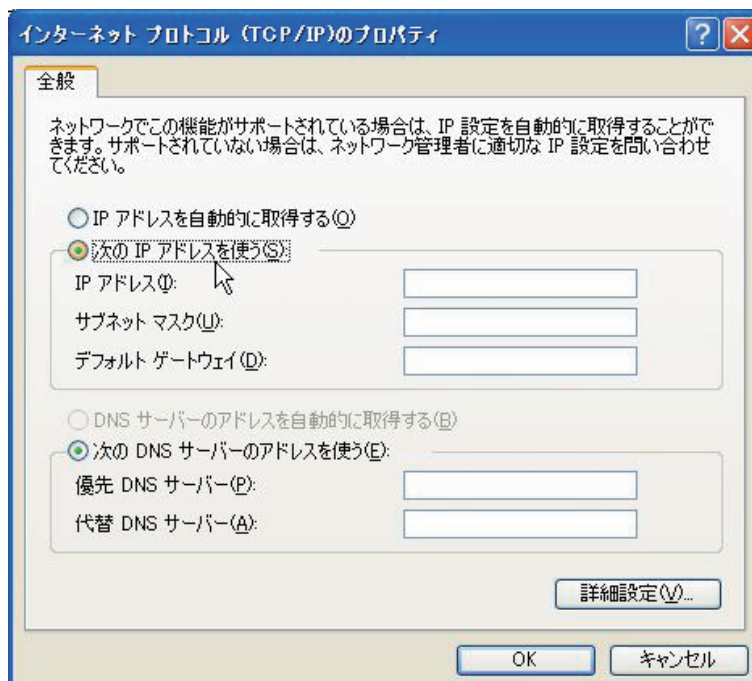
④ ローカルエリア接続のアイコンを右クリックし、プロパティをクリックします。



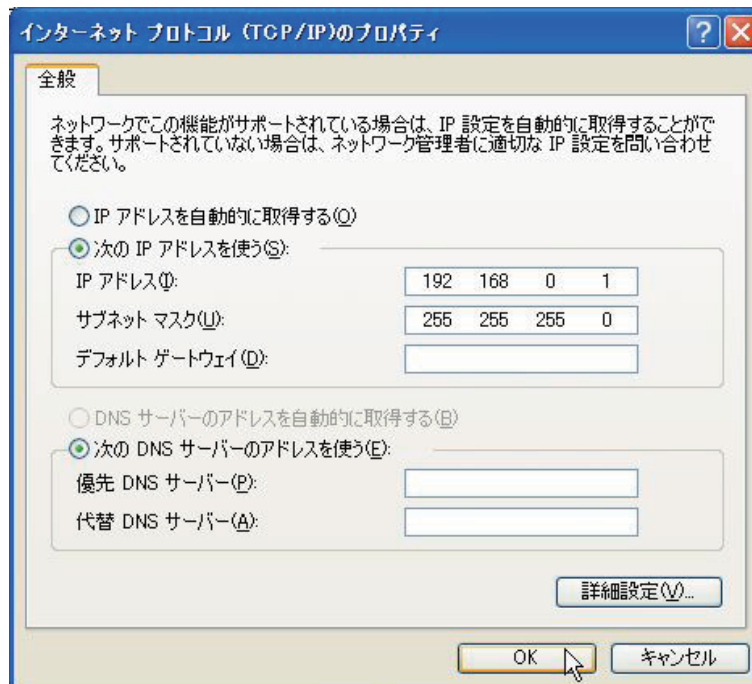
- ⑤ ローカルエリア接続のプロパティが表示されますので、インターネットプロトコル (TCP/IP) をクリックして選択します。



- ⑥ 次の IP アドレスを使う (S) にチェックを入れます。



- ⑦ 次のように IP アドレスとサブネットマスクにそれぞれ「192.168.0.1」と「255.255.255.0」を入力し「OK」をクリックします。



- ⑧ ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。



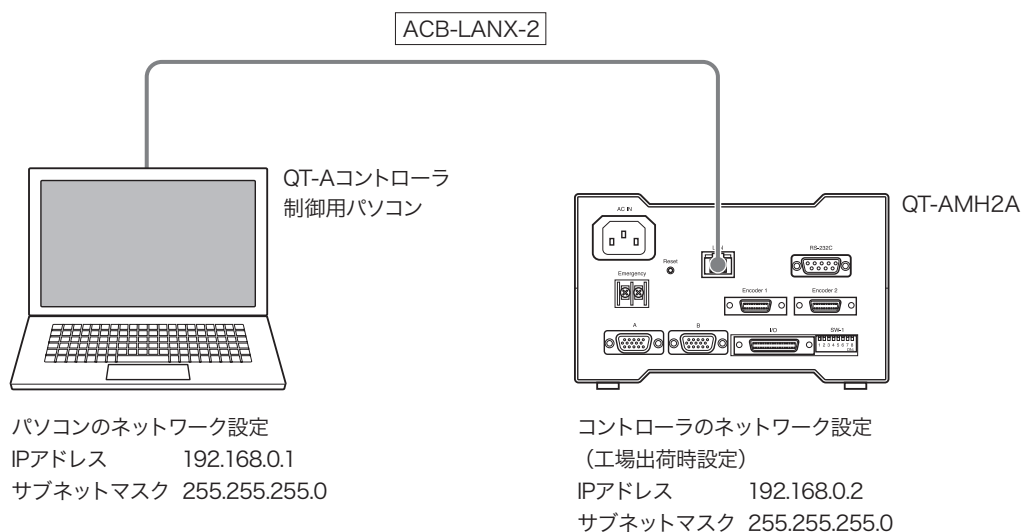
以上で QT-A コントローラとの接続に使用するパソコンのネットワーク設定は終了です。

4 仮想 COM の設定

設定した LAN ポートは、仮想 Com ポート（仮想的な RS-232C ポート）として動作します。ここでは、LAN ポートを仮想 Com ポートとして扱うための設定を行います。

仮想 COM ポートの設定を行うには、下図の構成で設定されている必要があります。QT-A コントローラは、工場出荷時で下図（右側）の設定になっていますので、接続するパソコンを下図（左側）の設定に変更する必要があります。パソコン設定変更方法は、前項「3. パソコンのネットワーク設定」を参照ください。

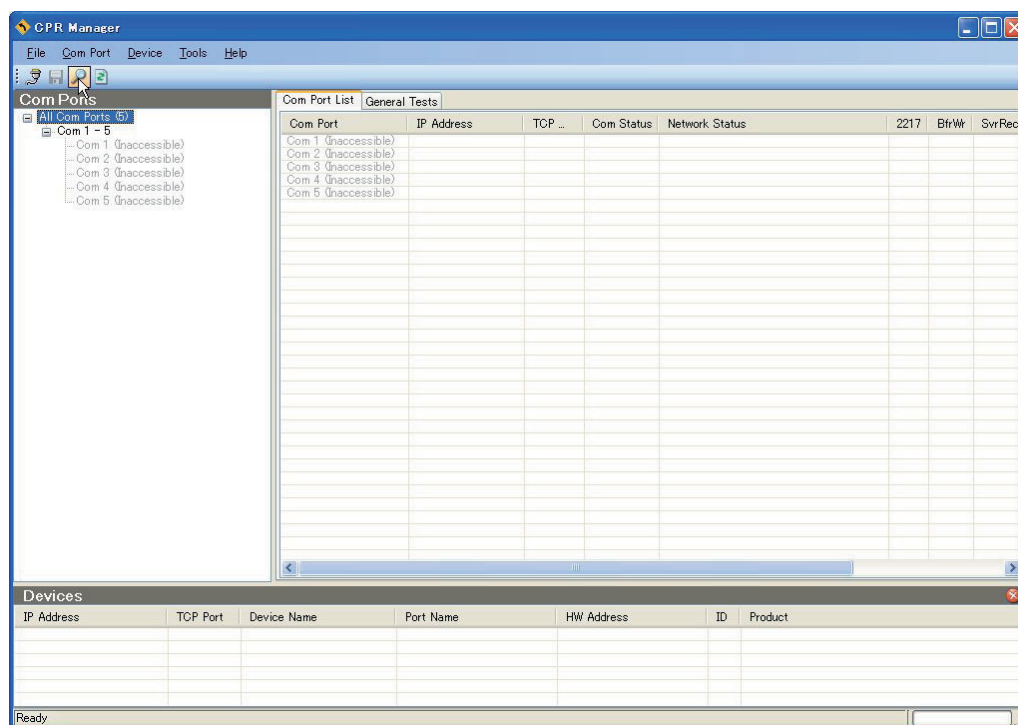
パソコン 1 台と QT-A コントローラ 1 台の接続には、市販のクロス LAN ケーブル、もしくは、当社オプションの「ACB-LANX-2」(クロス LAN ケーブル)を使用してください。なお、市販のクロス LAN ケーブルには、基準を満たさないものやクロスの結線方式が異なるものがあります。確実な接続を行うためにも当社オプションの「ACB-LANX-2」をご使用ください。



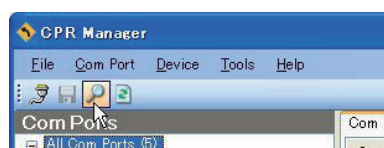
- ① 「スタートメニュー」→「すべてのプログラム (P)」→「Lantronix」→「CPR4.1」→「CPR Manager」を選択しクリックし、CPR Manager を起動します。



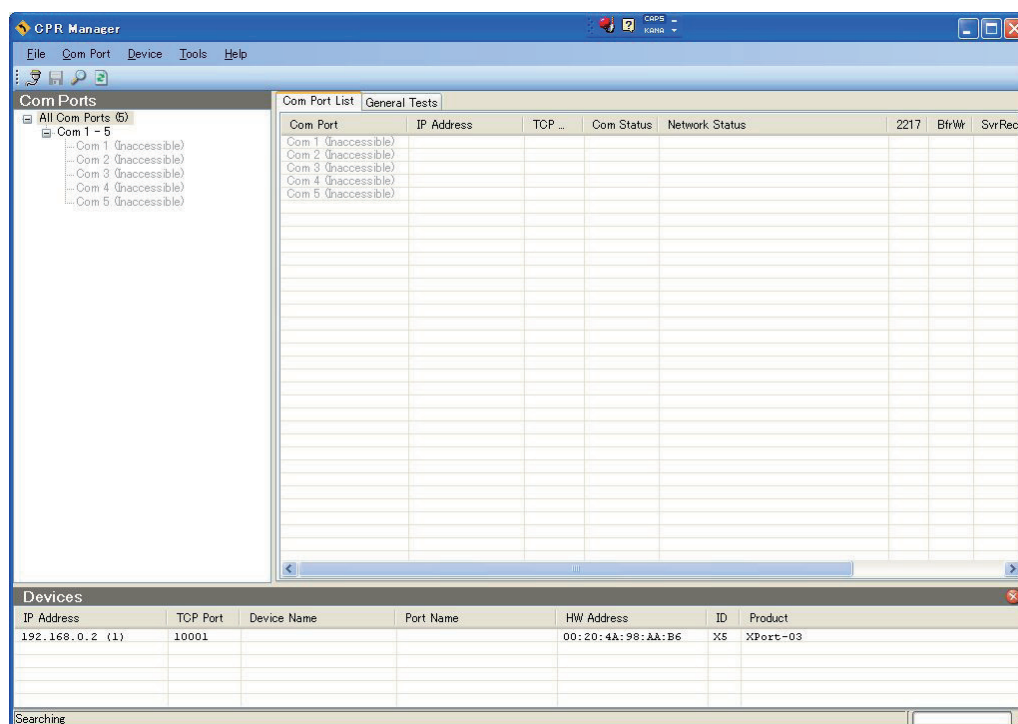
② CPR Manager が起動すると、次の画面が表示されます。



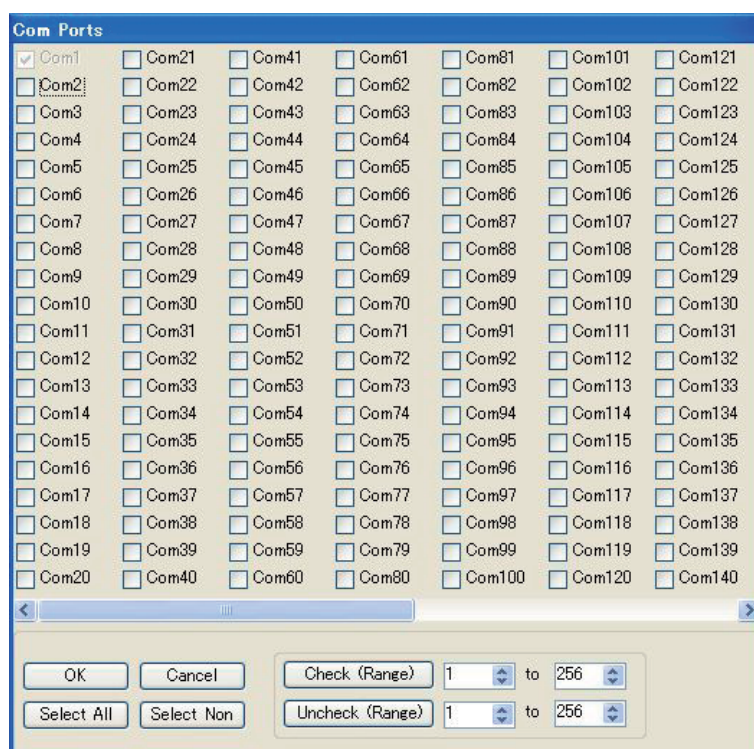
③ 左から 3 番目の  「Search」アイコンをクリックします。



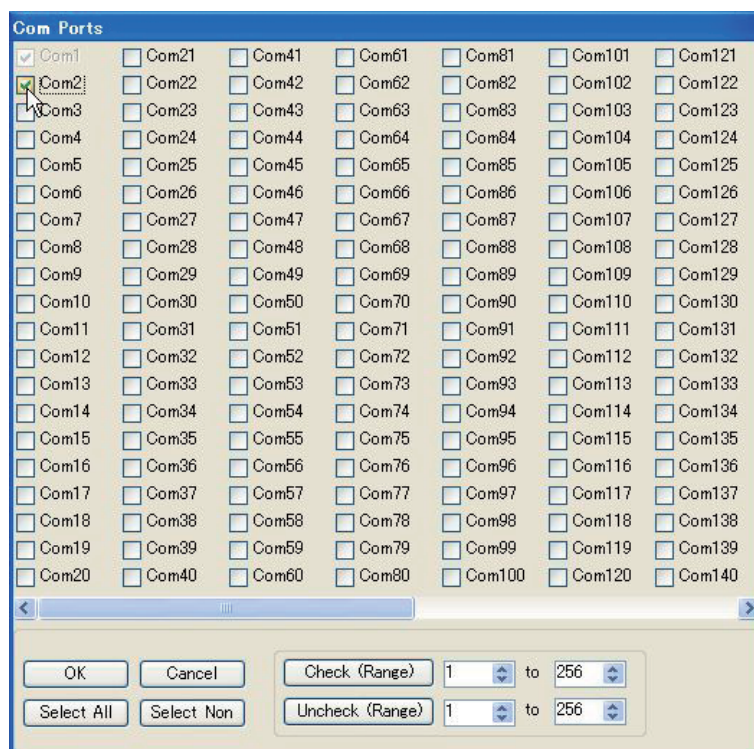
④ 左下の「Devices」に検出された XPort の IP が表示されます。



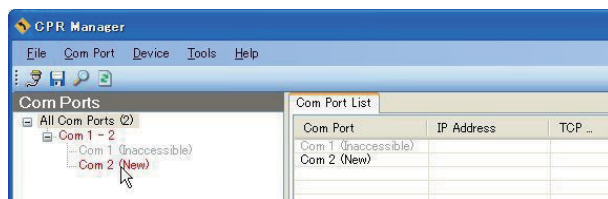
- ⑥ Com Port の一覧画面が表示されます。ここでは、先に設定した「192.168.0.2」の IP アドレスを Com2 に割り当てる「設定例」で説明いたします。



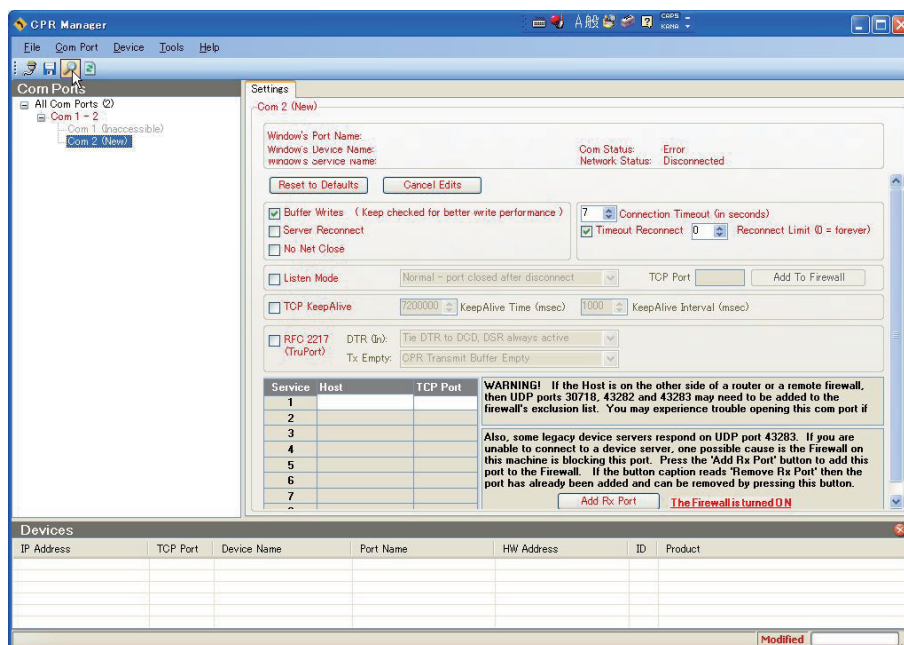
- ⑦ Com2 にチェックマークを付け、「OK」をクリックします。




- ⑧ 画面左側の「ComPorts」の中の「Com2 (New)」を選択しクリックします。

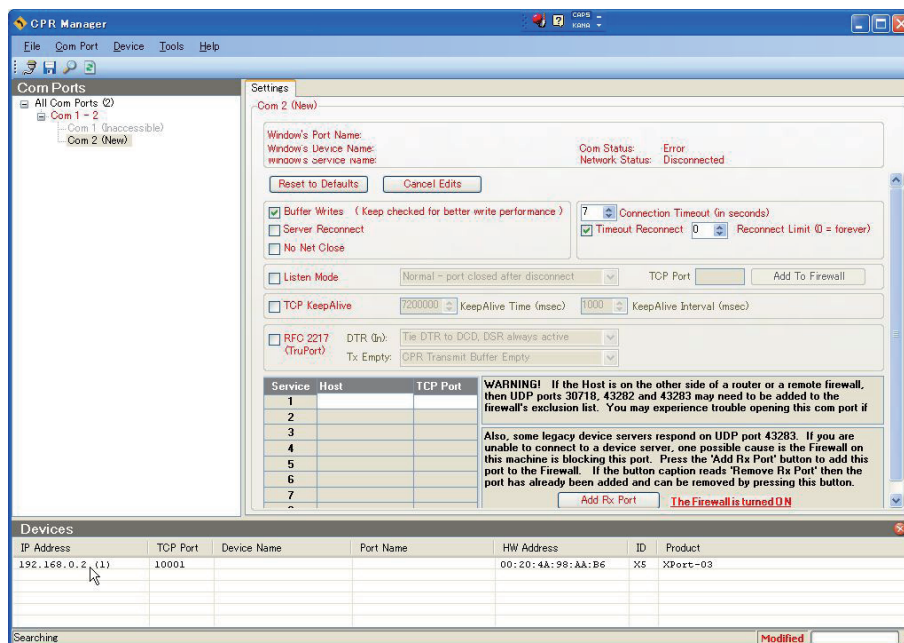


- ⑨ 次の画面が表示されます。

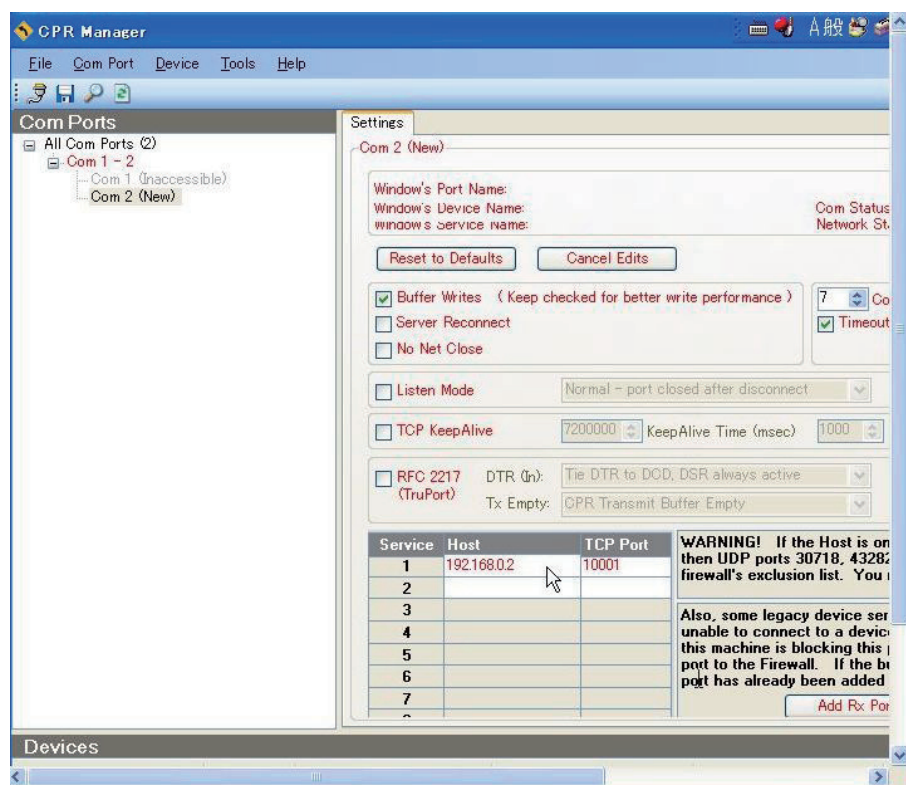


画面下の「Devices」に何も表示されていない場合は、再度左から3番目の  「Search」アイコンをクリックします。

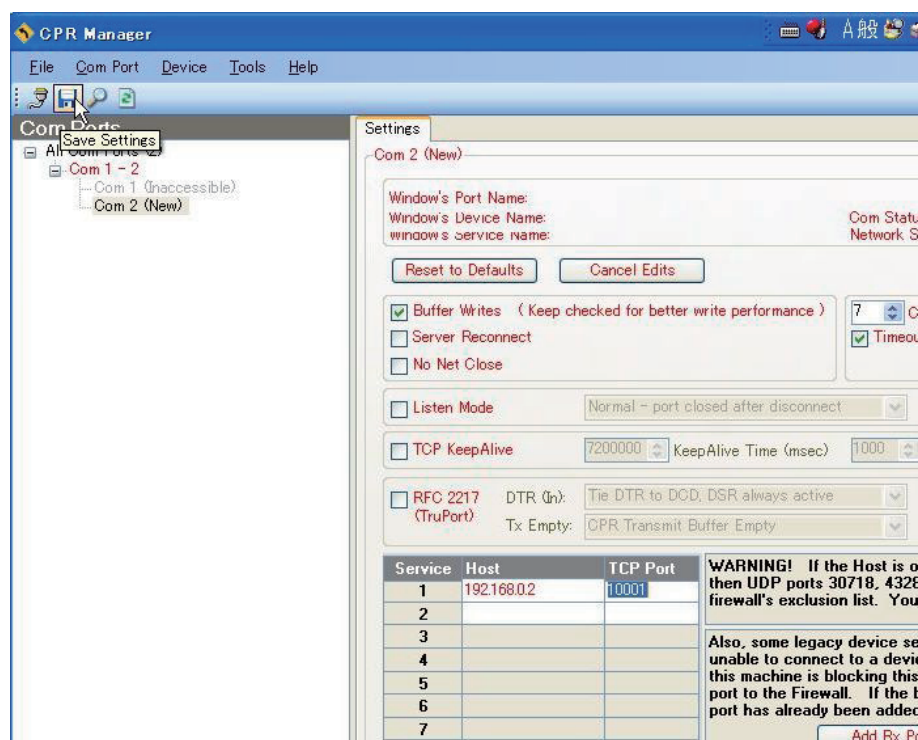
- ⑩ Search アイコンをクリックすると、次の画面が表示されます。画面下の「Devices」の欄に検出した IP アドレスをダブルクリックします。




ダブルクリックすると「Host」と「TCP Port」に自動的に数字が入力されます。



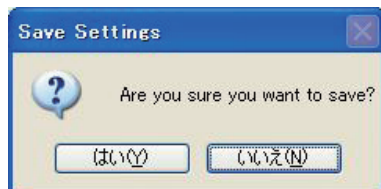
⑪ 変更した設定を保存します。



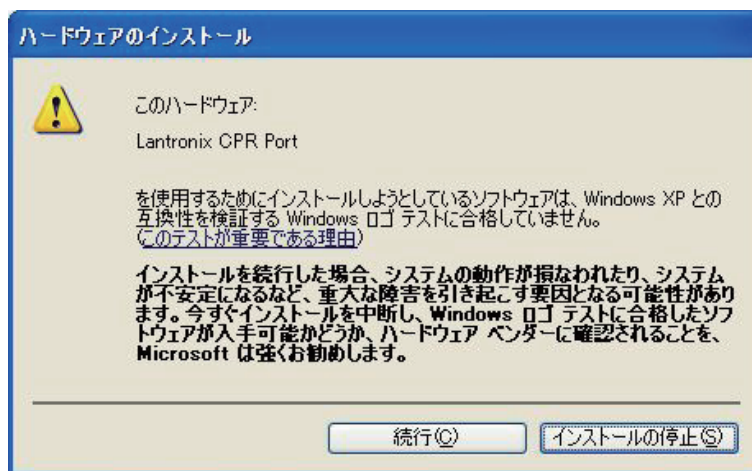
左から 2 番目の  「Save Setting」アイコンをクリックし設定を保存します。



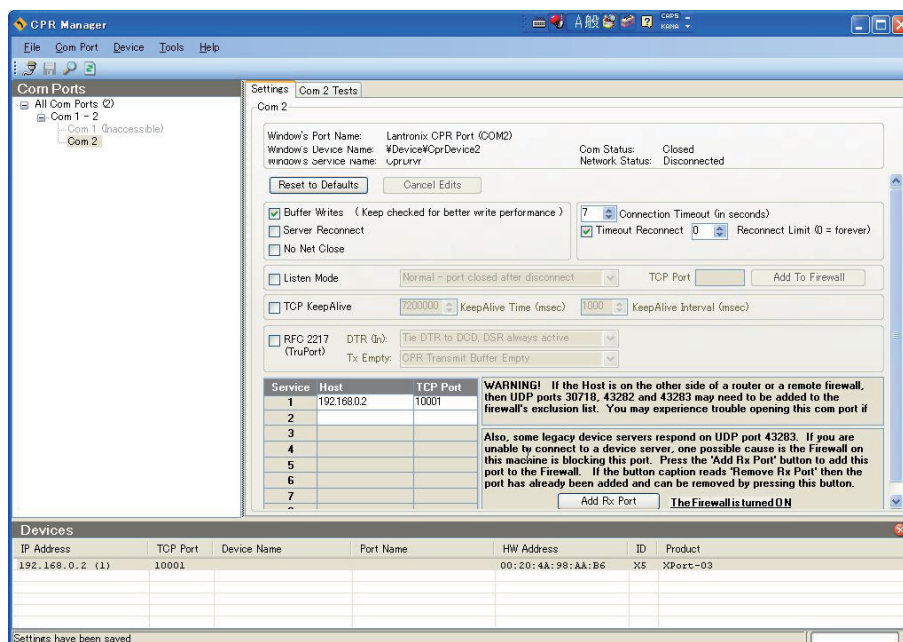
- ⑫ 保存確認画面が表示されますので、「はい (Y)」をクリックします。



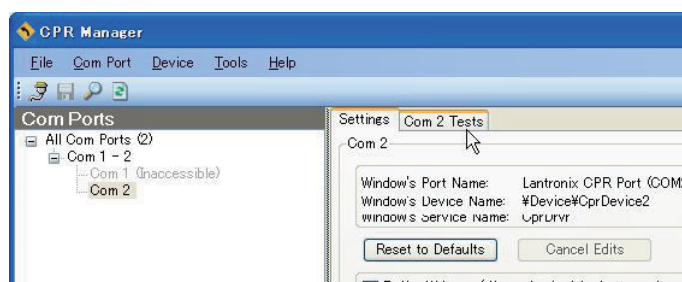
- ⑬ 同じ警告メッセージが 2 回表示されますので、2 回とも「続行 (C)」をクリックします。



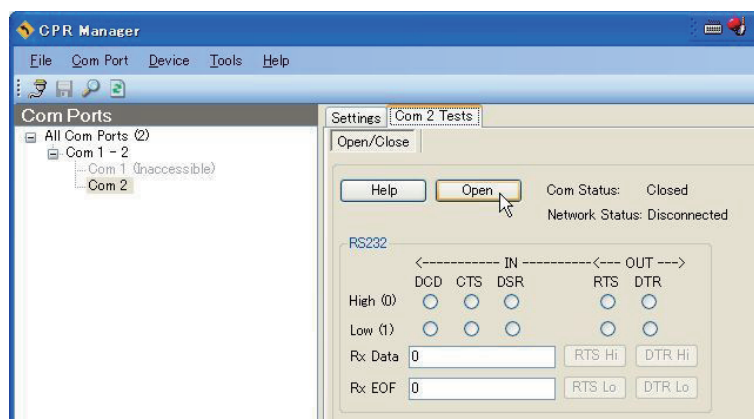
- ⑭ Com2 ポートに「192.168.0.2」の IP アドレスが割り当てが正常に設定保存され、表示文字が赤から黒に変わります。



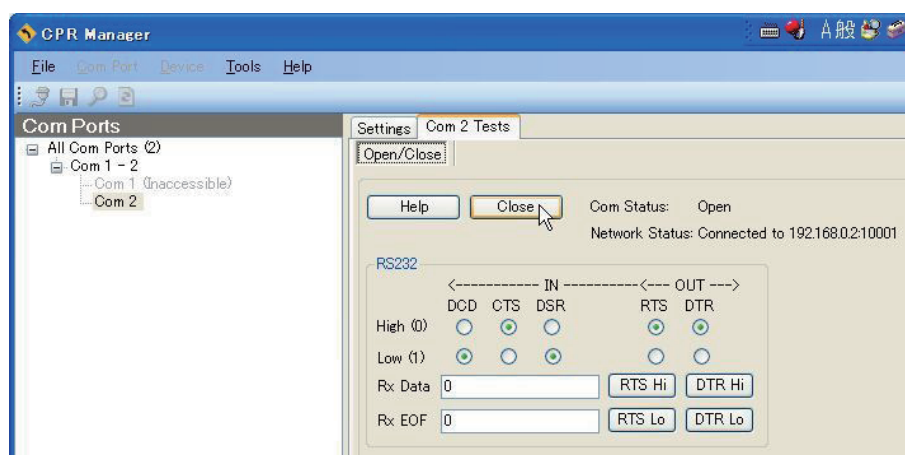
- ⑮ Com2 ポートが接続可能となり、新たに「Com 2 Tsets」のタブが表示されますので、このタブをクリックします。



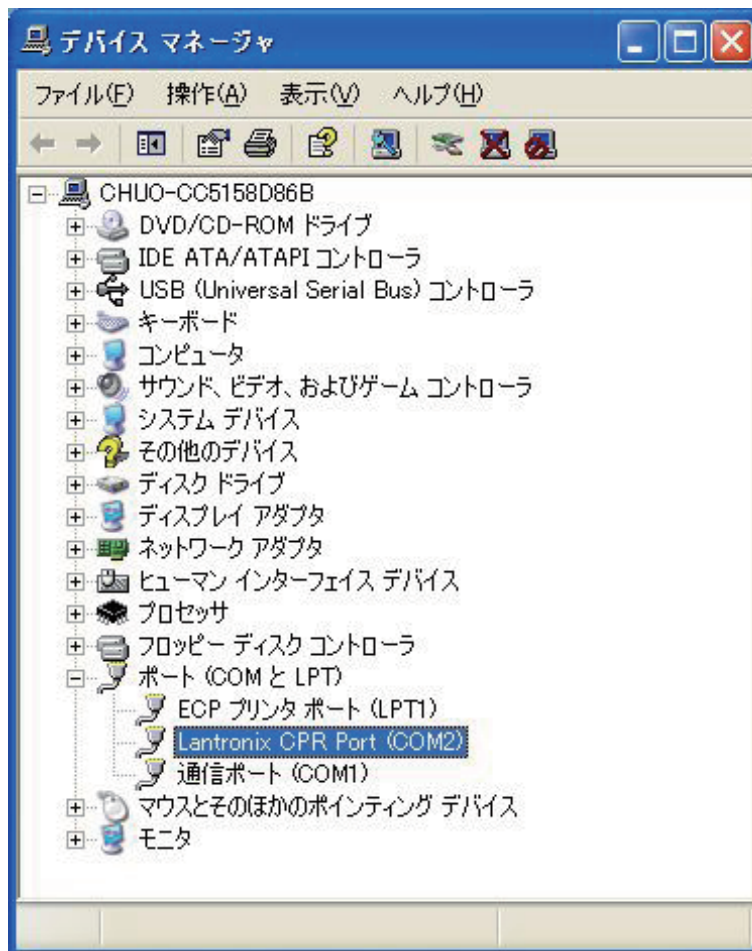
- ⑯ タブをクリックすると次の画面が表示されますので、「Open」をクリックします。



- ⑰ 画面に示す「RS232」の枠内が変化し、QT-A コントローラに内蔵した XPort との通信が確立されたことが確認できます。「Close」をクリックしてから、CPR Manager を閉じてください。



Windows のデバイスマネージャでも、「ポート (COM と LPT)」部分に「Lantronix CPR Port (COM2)」が表示され、通信が確立したことが確認できます。

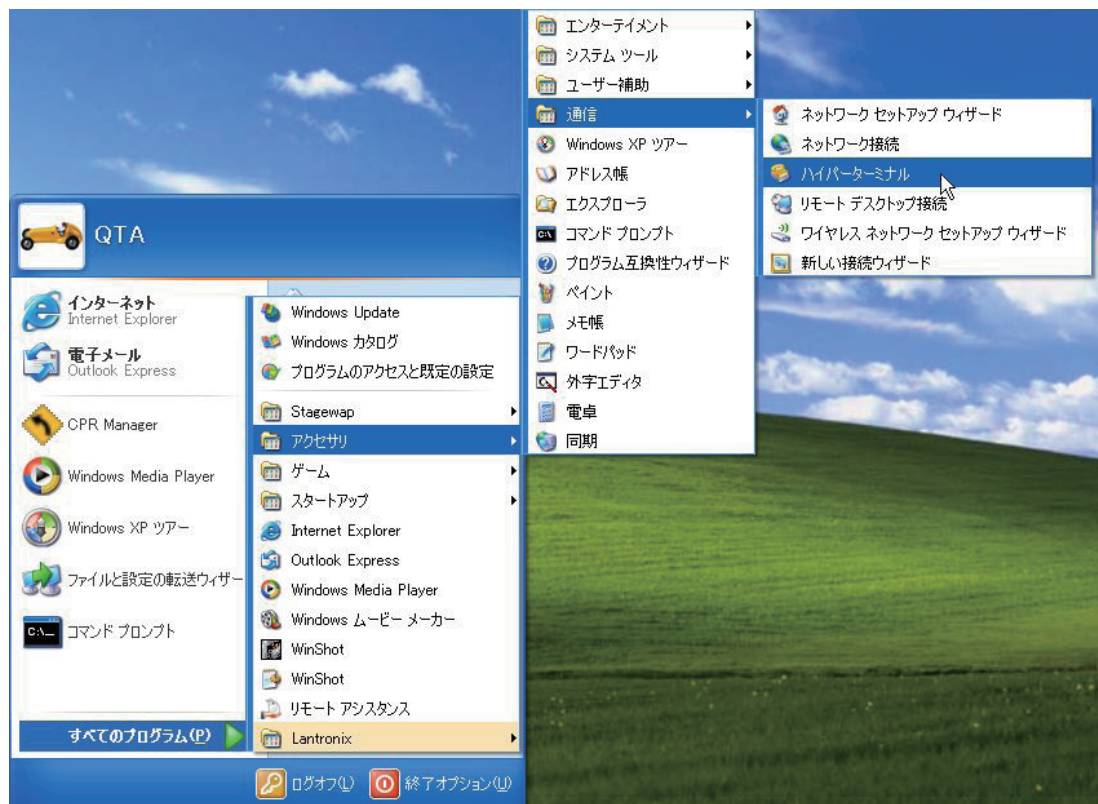


5 ターミナルでの接続確認

ここでは、WindowsXP に付属しているハイパーターミナルでの接続例について解説します。
WindowsVista にはハイパーターミナルは、付属していませんので、TeraTerm などのフリーソフト
をご利用ください。

TeraTerm の使用方法は、TeraTerm に付属の説明書をご覧ください。当社では、TeraTerm について
のお問い合わせには応じられません。

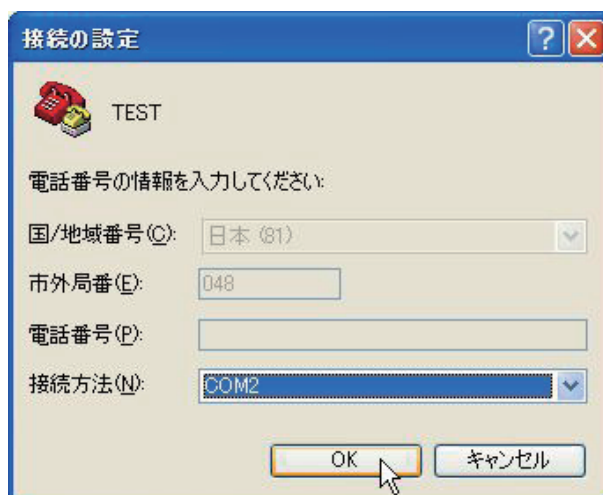
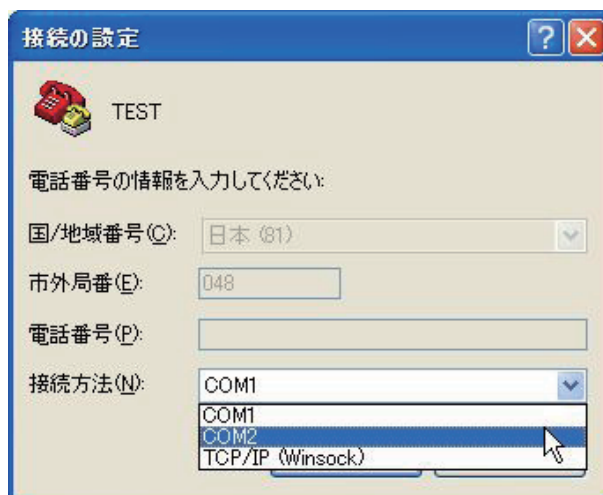
- ① ハイパーターミナルを起動します。「スタート」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を選びクリックします。



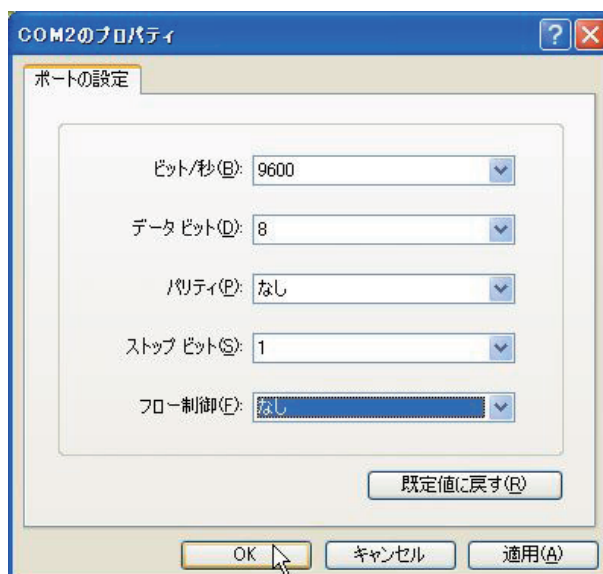
- ② 「名前(N)」に任意の名前を入力し「OK」をクリックします。画面の例では「TEST」としています。



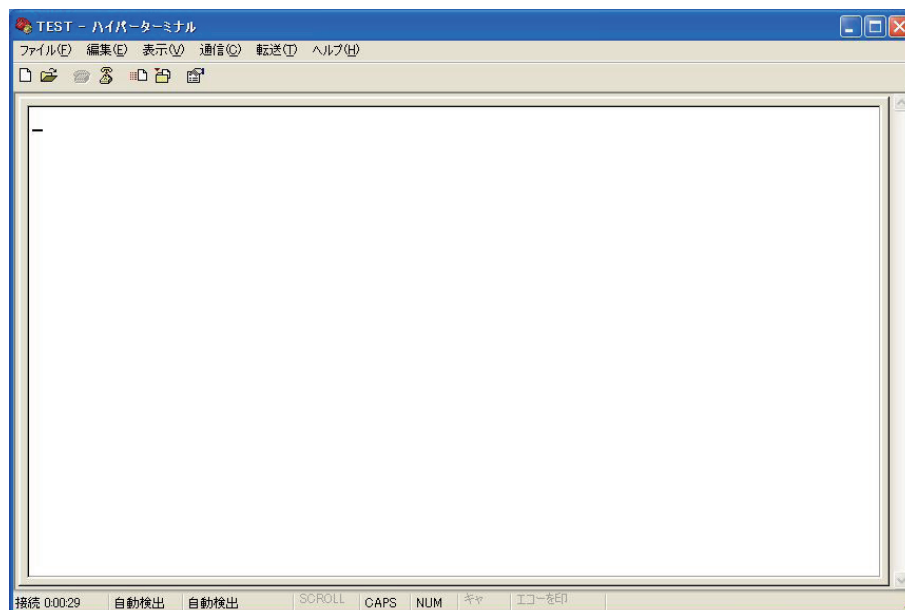
- ③ 先の設定で、Com2にQT-A コントローラを接続していますので、「接続方法(N)」から「COM2」を選択し「OK」をクリックします。



- ④ COM2 のプロパティ画面に変わりますので、次の画面のように各項目を設定してください。
「ビット / 秒 = 9600」、「データビット = 8」、「パリティ = なし」、「ストップビット = 1」、「フロー制御 = なし」に設定してください。



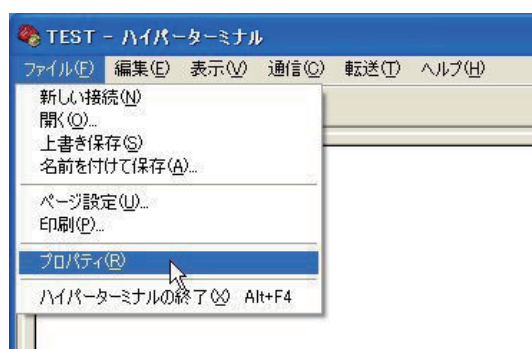
⑤ 次の画面が表示されます。



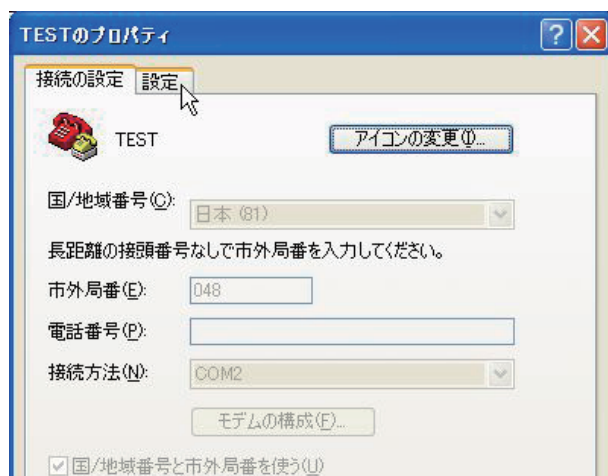
画面左下に「接続」が表示されたら QT-A コントローラとパソコンの接続が確立されています。



⑥ 確認のため、エコーバック機能による送受信を行います。ハイパーターミナルの「ファイル」→「プロパティ」を選択しクリックします。



⑦ TEST のプロパティ画面が表示されますので、「設定」のタブをクリックします。

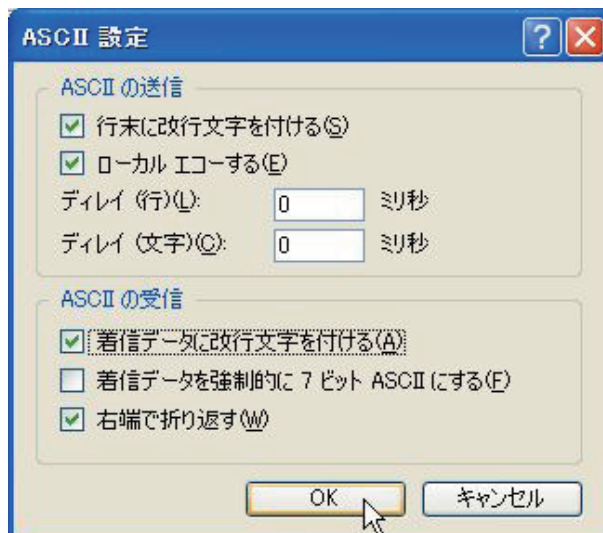


- ⑧ 次の画面が表示されたら、「ASCII 設定 (A)」をクリックします。



- ⑨ ASCII の設定は、「着信データを強制的に 7 ビット ASCII にする (F)」以外の項目にチェックマークを付けて「OK」をクリックします。

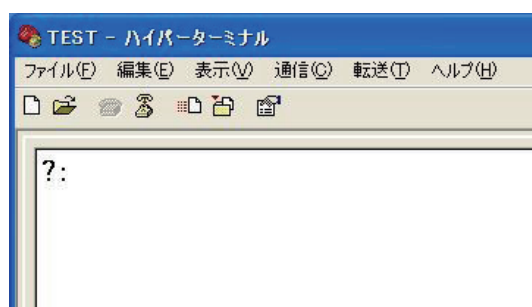
※ 「着信データを強制的に 7 ビット ASCII にする (F)」にはチェックマークを付けしないでください。



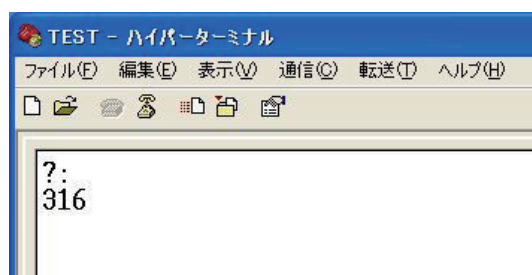
- ⑩ TEST のプロパティ画面に戻りますので、「OK」をクリックします。



- ⑪ TEST ハイパーターミナル画面に戻りますので、キーボードから「?:」と入力し「Enter」キーを押します。



- ⑫ QT-A コントローラより、バージョンを示す 3 桁の数字が返って来れば双方向の通信が確立できたことになります。



以上で LAN ポートによる接続設定は完了です。

6 QT-A コントローラを 2 台以上接続する場合

HUB を介して、1 台のパソコンで複数台の QT-A コントローラを接続する方法について解説します。

⚠ 注意

当社は、コントローラ制御用パソコン 1 台と複数台の QT-A コントローラのみが HUB に接続されている状態をサポート致します。

HUB に他の機器や複数のパソコンが接続されている場合は、お客様ご自身、またはネットワーク管理者の管理のもとで接続設定を行ってください。なお、このような場合のお問い合わせ、サポート、ネットワーク構築作業等には、一切応じられませんのでご了承ください。

- HUB についても同様です。HUB のメーカーにお問い合わせください。
- 当社は、動作を保証するパソコンや HUB のご紹介は行っておりません。

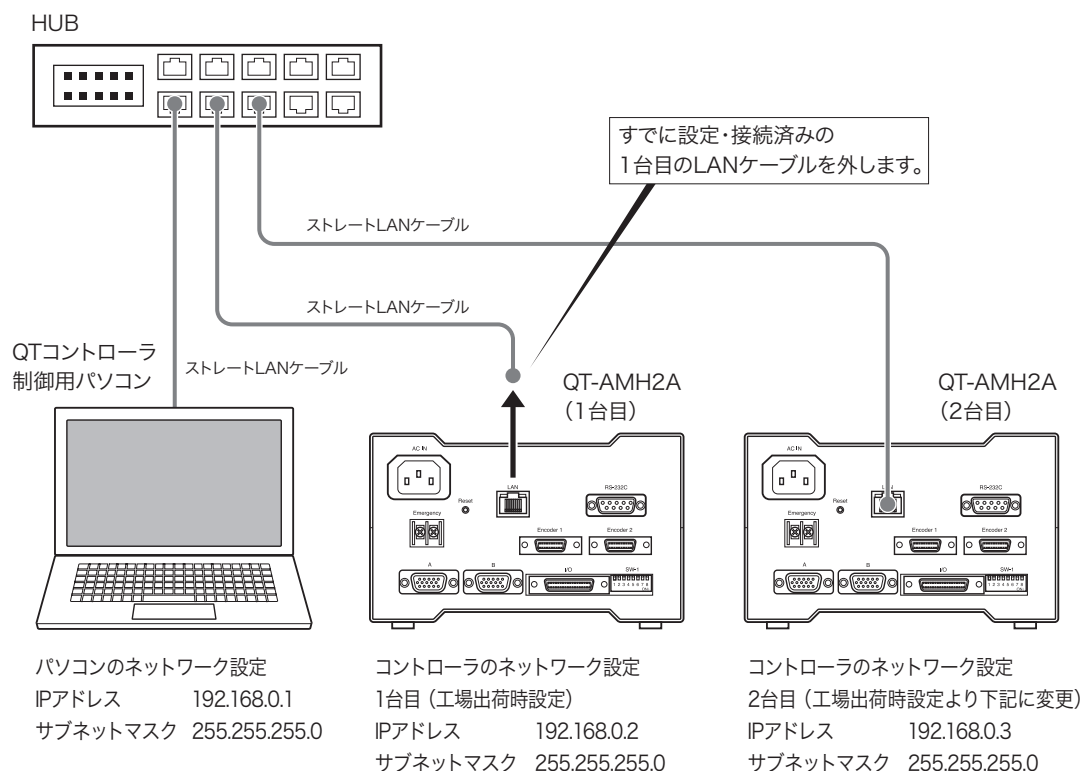
① 2 台目の QT-A コントローラを HUB 経由でパソコンに接続します。

2 台目の QT-A コントローラの IP アドレスを工場出荷状態（192.168.0.2）から変更する必要があり、設定の変更は 1 台ずつ行う必要があります。

下図のように、1 台目の QT-A コントローラの LAN ケーブルを外し、2 台目の QT-A コントローラとパソコンが LAN ケーブルで接続された状態にします。

⚠ 注意

LAN → HUB → QT-A コントローラ（2 台目）が接続された状態にしてください。HUB に 2 台の QT-A コントローラが接続され、どちらの QT-A も同じ IP アドレス（192.168.0.2）では、2 台のコントローラ共に設定できなくなります。



ここでは、1 台目の QT-A コントローラの IP アドレスは工場出荷状態（「192.168.0.2」）のまま変更せず、2 台目の QT-A コントローラの IP アドレスを「192.168.0.2」→「192.168.0.3」に設定変更する場合の「設定例」で説明いたします。

- ② インターネットエクスプローラを起動し、アドレス (D) に「192.168.0.2」を入力し Enter キーを押します。



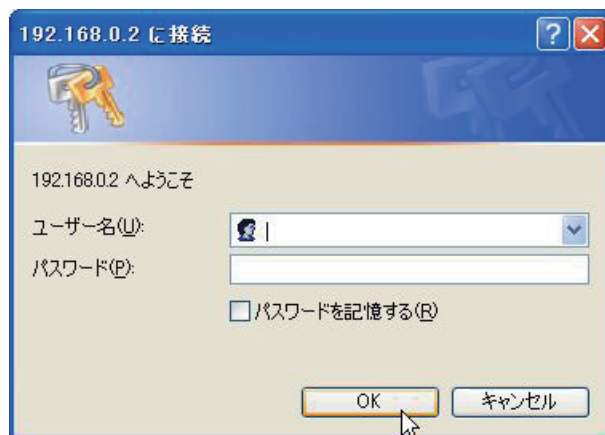
- ③ 192.168.0.2 に接続の画面になり、「ユーザ名」と「パスワード」の入力を求められますが、どちらも何も入れず、また、「パスワードを記録する」もチェックマークを付けずに、「OK」をクリックします。

⚠ 注意

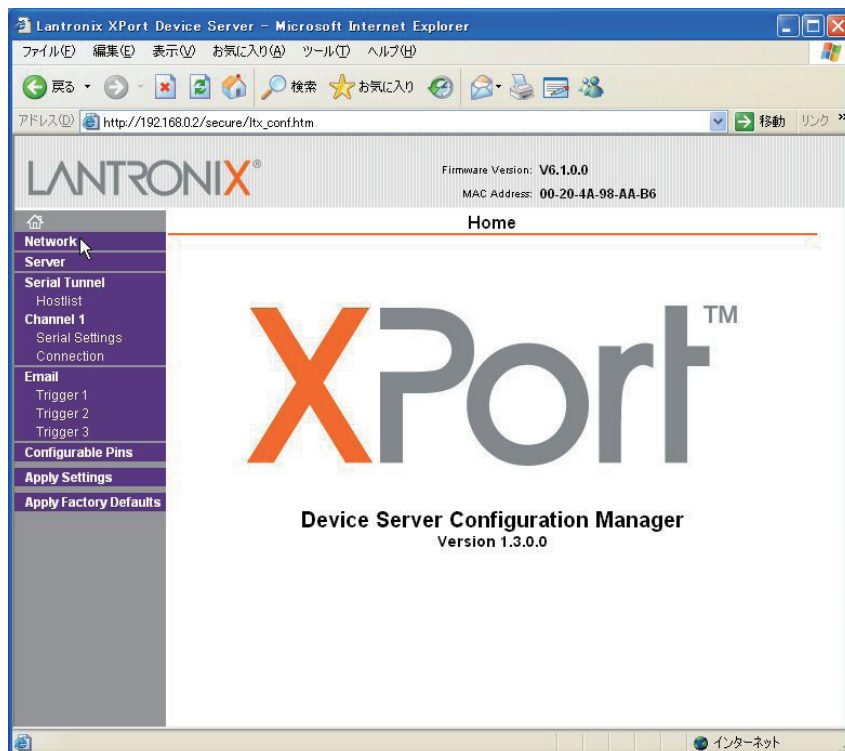
ユーザ名とパスワードを入力すると、次回の設定変更の際、変更画面に移行できなくなる場合がありますので、ユーザ名とパスワードは空のままで「OK」をクリックします。

パスワードを設定される場合は、自己責任で行ってください。パスワードを設定し、万一そのパスワードを忘れてしまった場合、当社ではパスワードの解析はできません。また、工場出荷状態に戻すことも不可能となります。

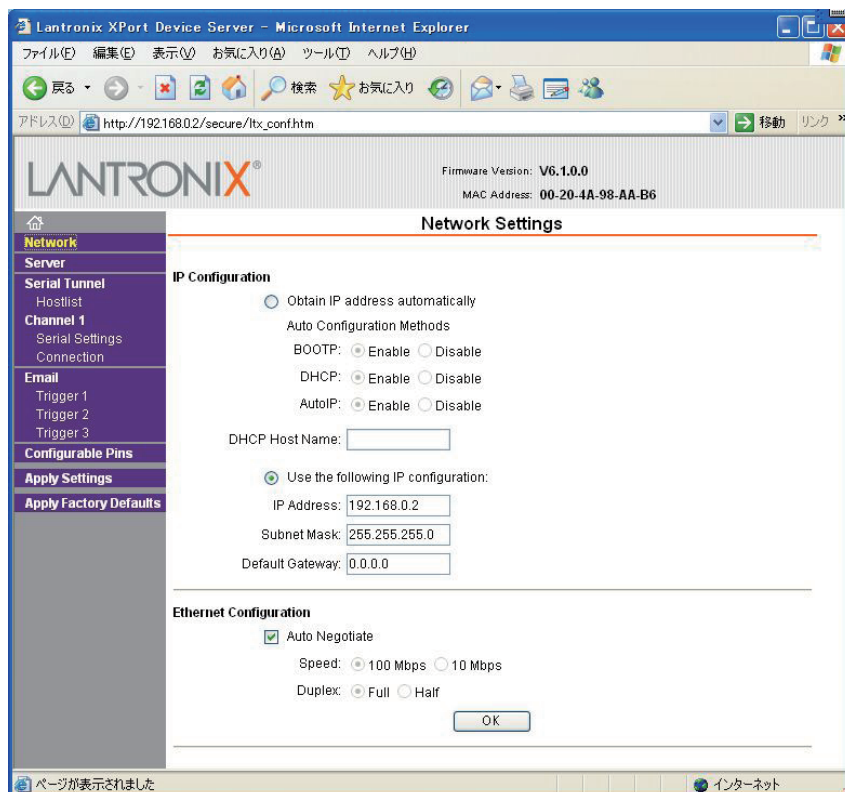
このような場合の修理については、保証対象外となるばかりでなく修理自体をお断りする場合があります。



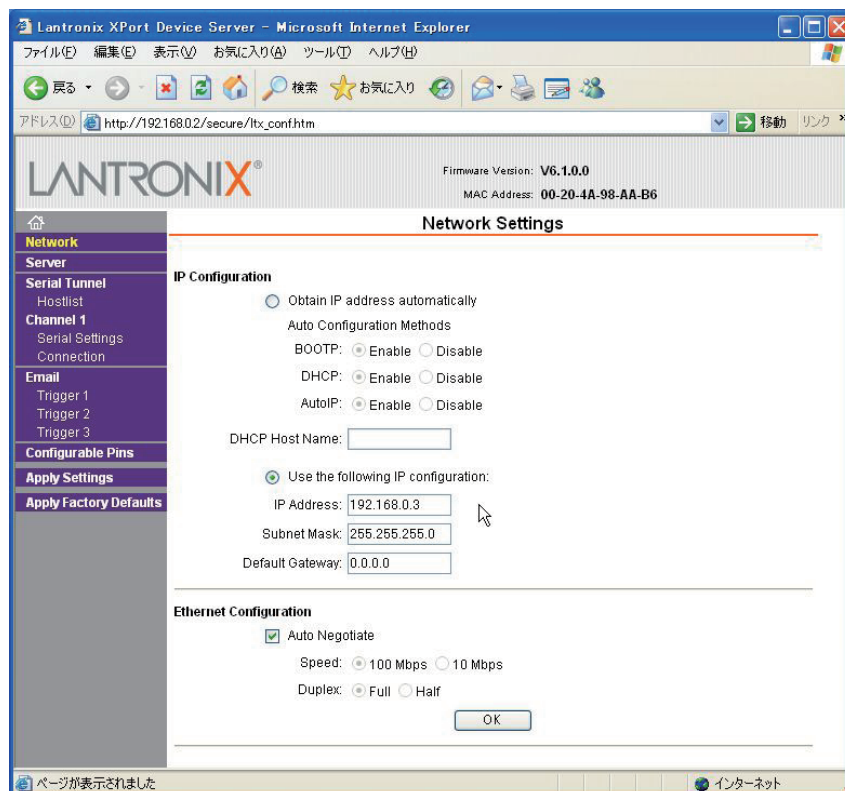
- ④ 次の「Device Server Configuration Manager」が起動しますので、画面右のメニューの「Network」を選択しクリックします。



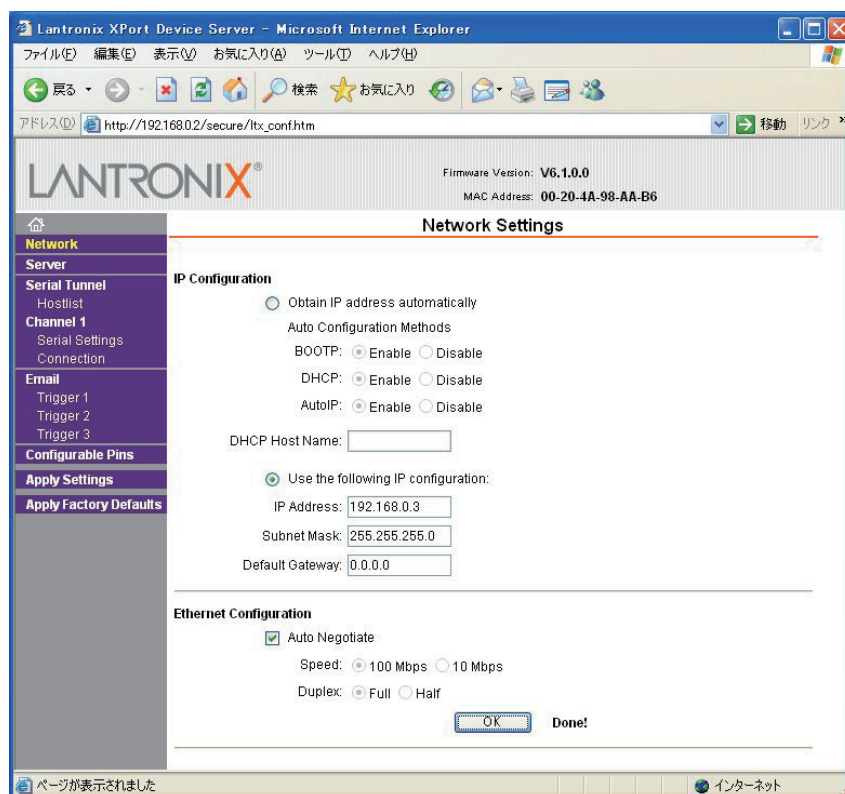
- ⑤ 以下が工場出荷時の QT-A コントローラの設定です。IP Address が「192.168.0.2」、Subnet Mask が「255.255.255.0」となっています。



- ⑥ IP Address に「192.168.0.3」を入力し、画面下の「OK」をクリックします。



- ⑦ 「OK」をクリックすると「Done!」と表示されますが、内部のフラッシュメモリに書き込みが行われていないので、次の操作を行ってください。

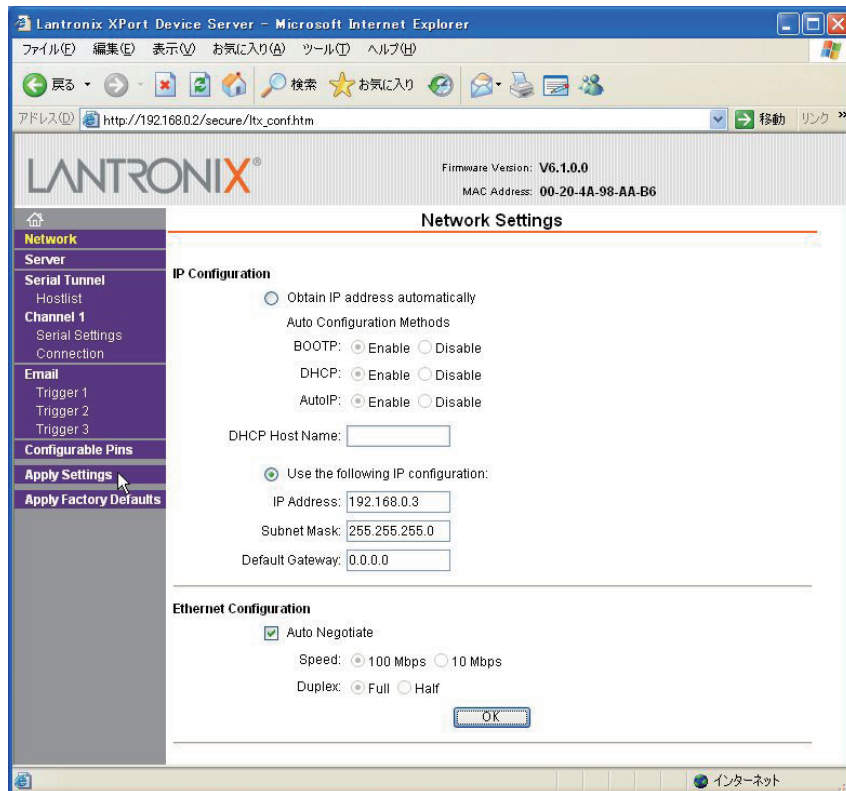


- ⑧ 変更した設定をフラッシュメモリに書き込む操作を行います。画面左側のメニューから「Apply Settings」を選択し、クリックします。

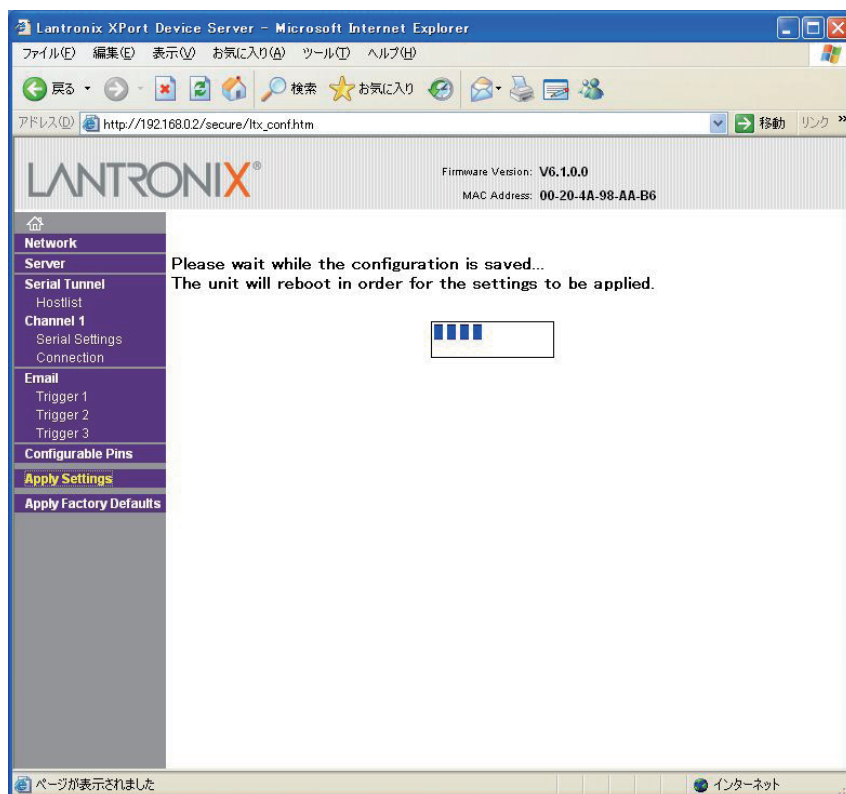


注意

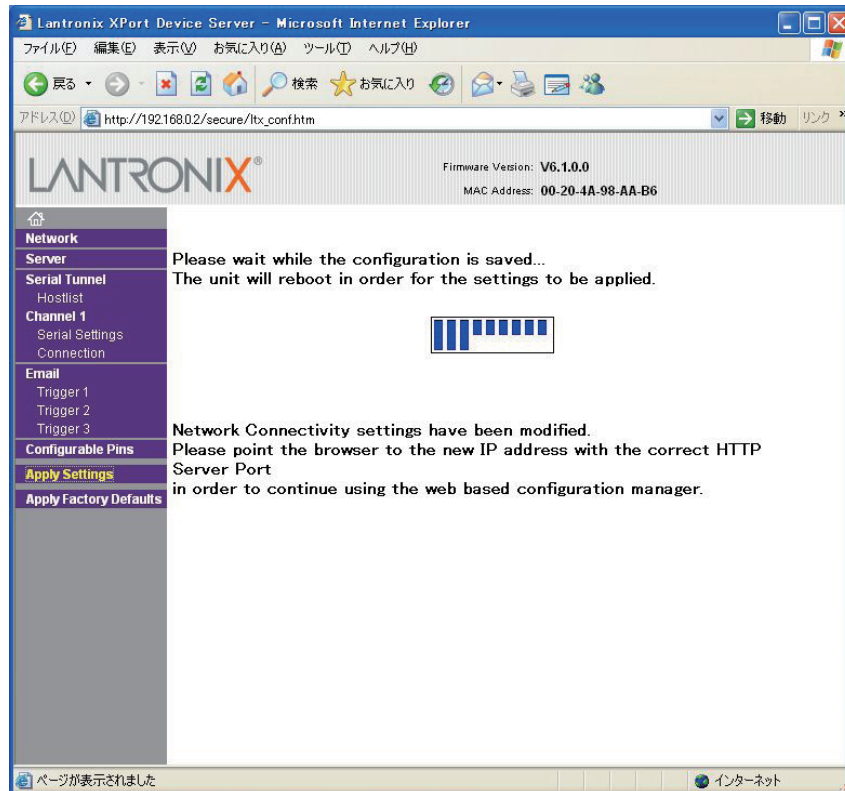
一旦「Apply Settings」をクリックし、フラッシュメモリに書き込むと、以後本体のリセットスイッチを押しても工場出荷状態に戻すことができなくなりますので、ご注意ください。



- ⑨ 書き込みが始まると次の画面が表示されますので、しばらくお待ちください。

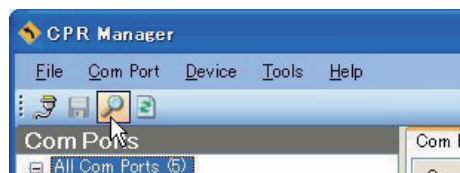


- ⑩ 書き込みが終わると次のメッセージが表示されますので、インターネットエクスプローラを終了させてください。

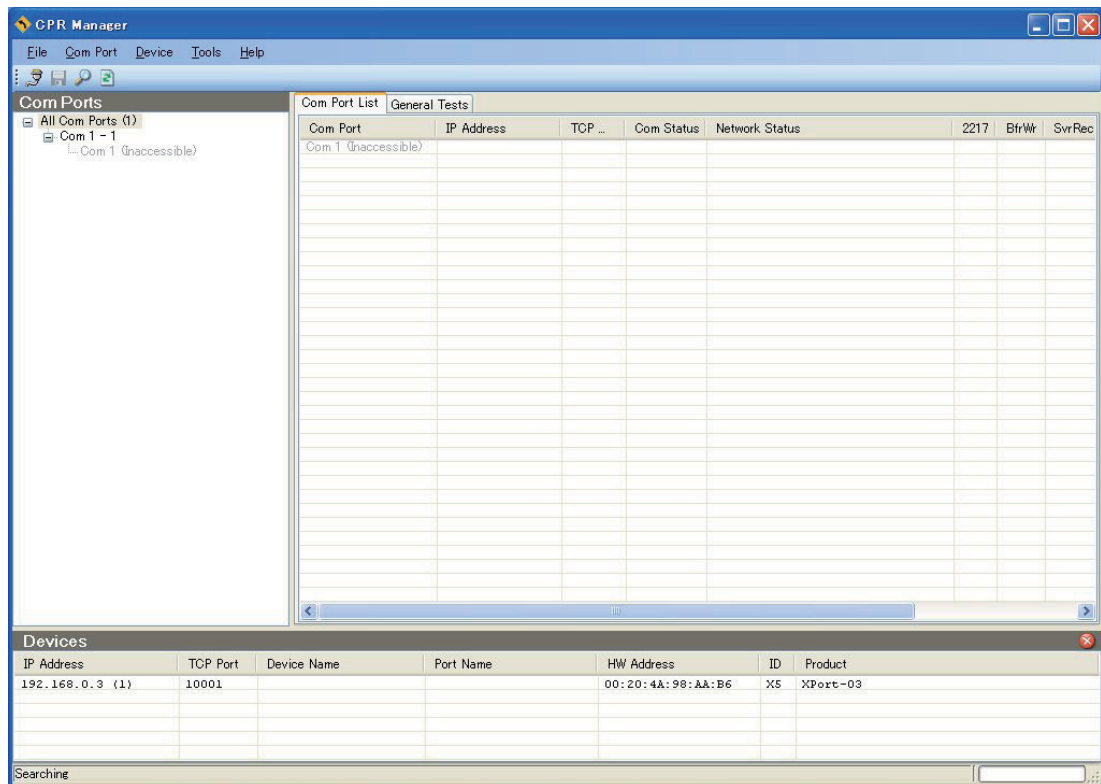


以上で 2 台目の QT-A コントローラの IP アドレスが変更されました。

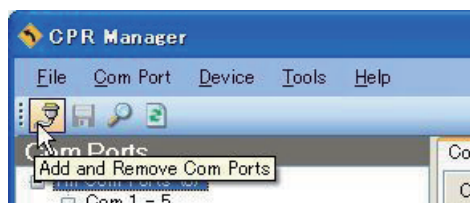
- ⑪ 次に 2 台目の QT-A コントローラ (IP アドレス 192.168.0.3) を Com3 ポートに割り当てる作業を行います。
CPR Manager と起動し、左から 3 番目の 「Search」 アイコンをクリックします。



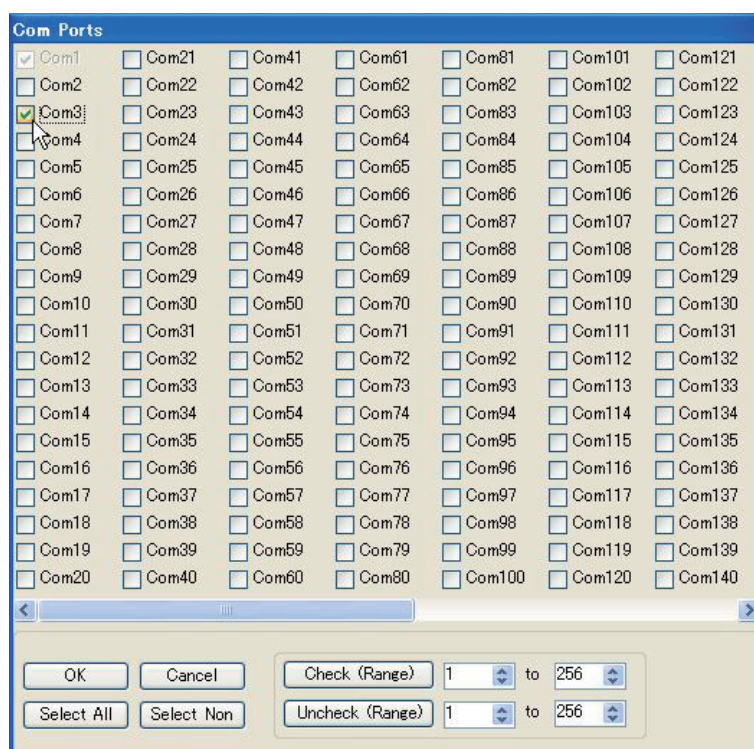
CPR Manager 画面下の「Devices」に先ほど設定した 2 台目の QT-A コントローラの IP アドレス (192.168.0.3) が検出され表示されます。



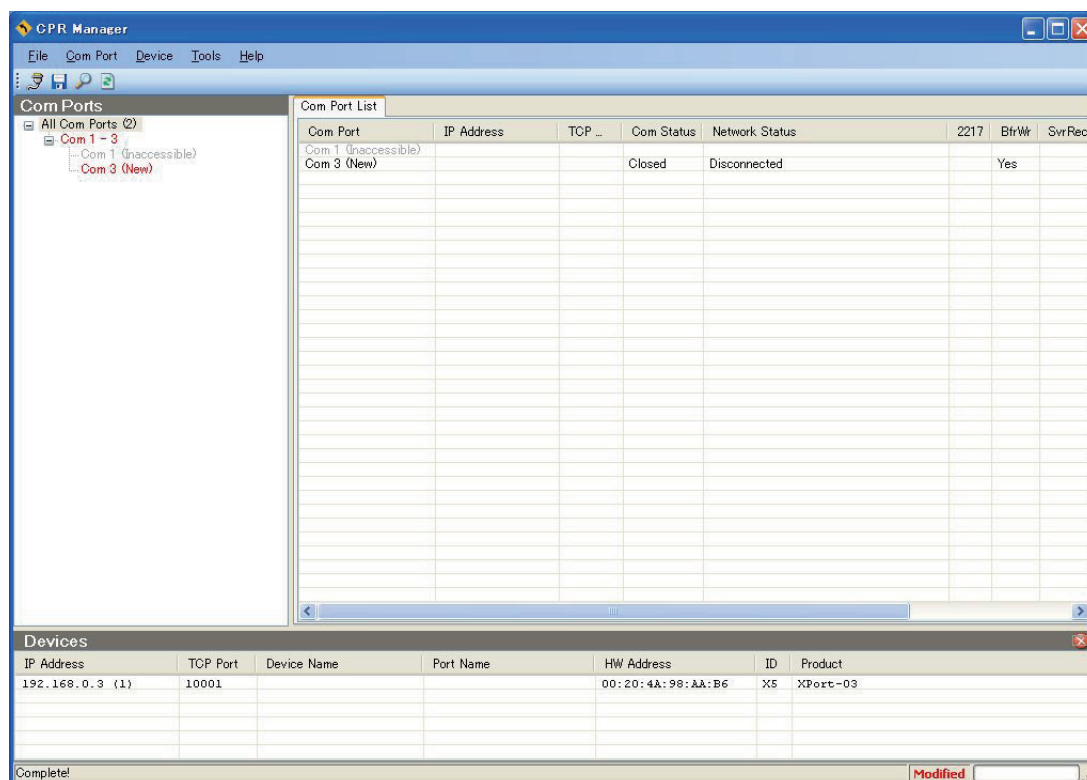
- ⑫ 左から 1 番目の  「Add and Remove Ports」アイコンをクリックします。



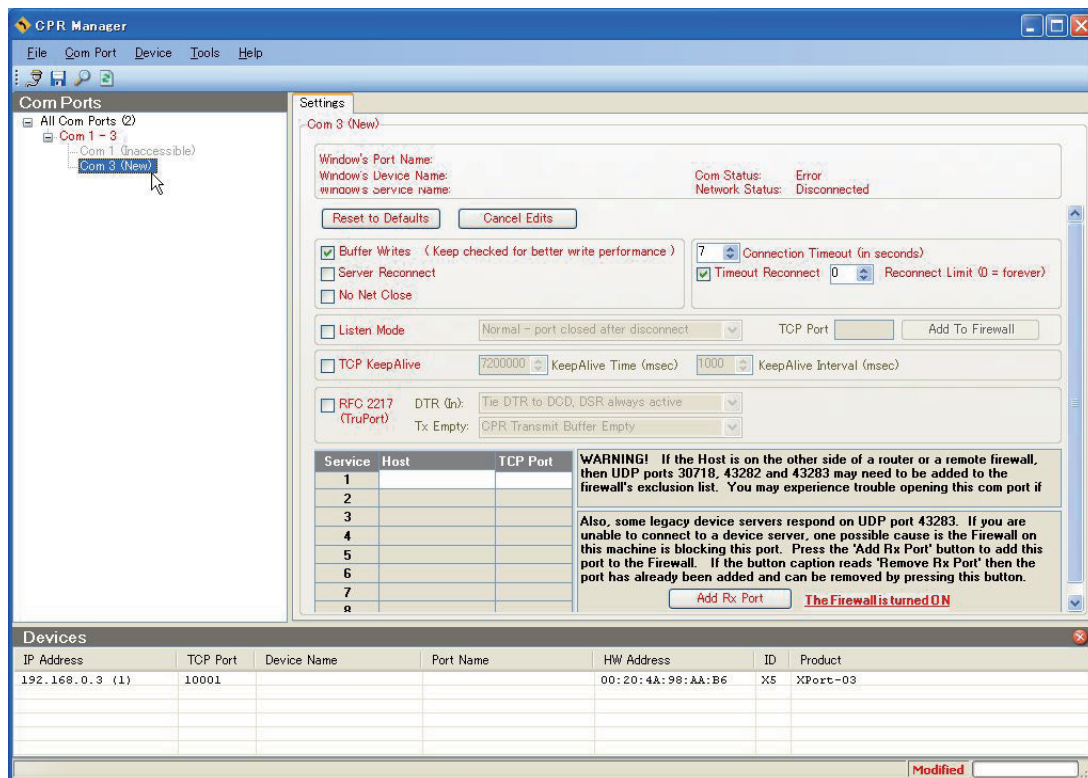
- ⑬ Com Ports の設定画面が表示されますので、Com3 にチェックマークを付け、「OK」をクリックします。



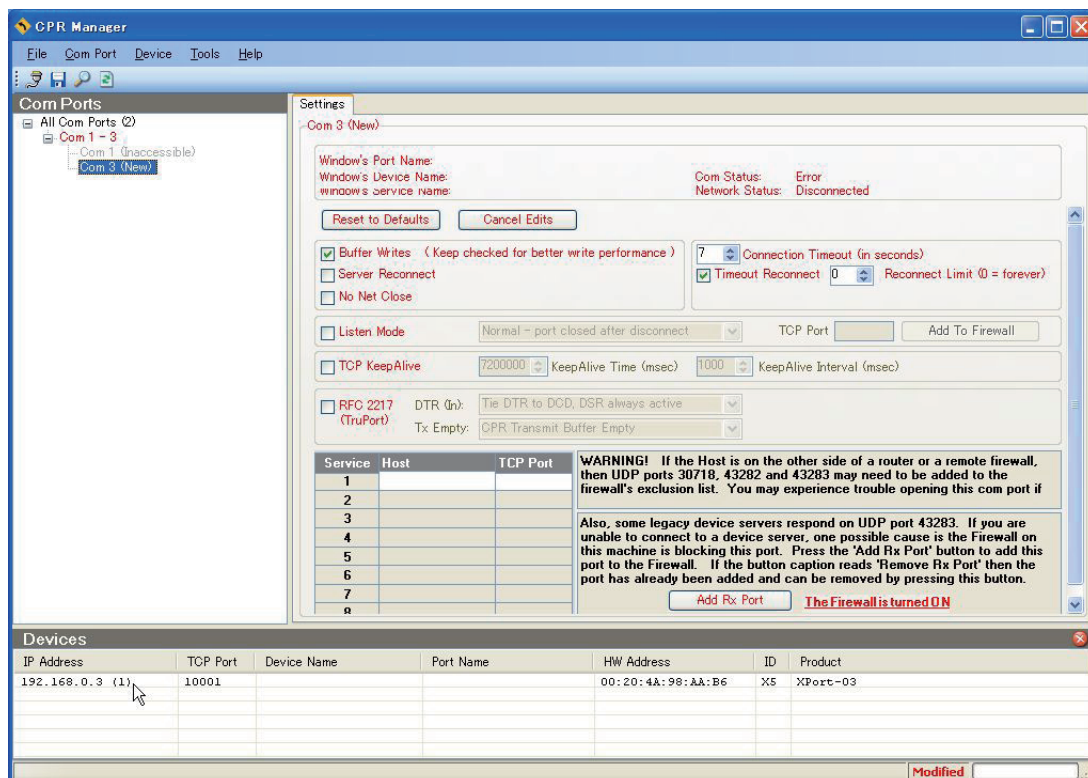
- ⑭ 次の画面に変わり Com3 (New) が赤字で表示されます。



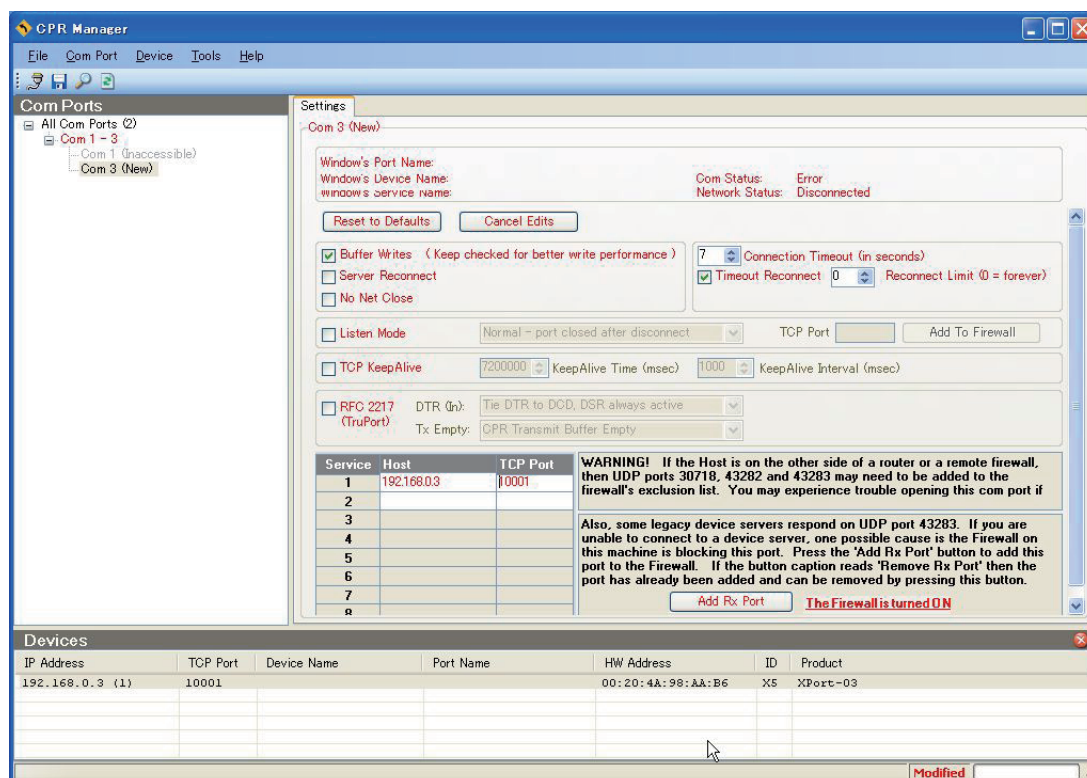
- ⑮ COM3 (New) の赤字部分をクリックすると、次の画面が表示されます。



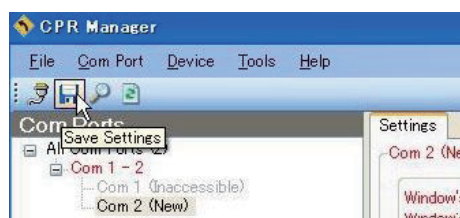
- ⑯ 画面下の「Devices」に表示されている2台目QT-AコントローラのIPアドレス(192.168.0.3)の数字部分をダブルクリックします。



- ⑰ 数値をダブルクリックすると「Host」と「TCP Port」に自動的に数値が挿入されます。



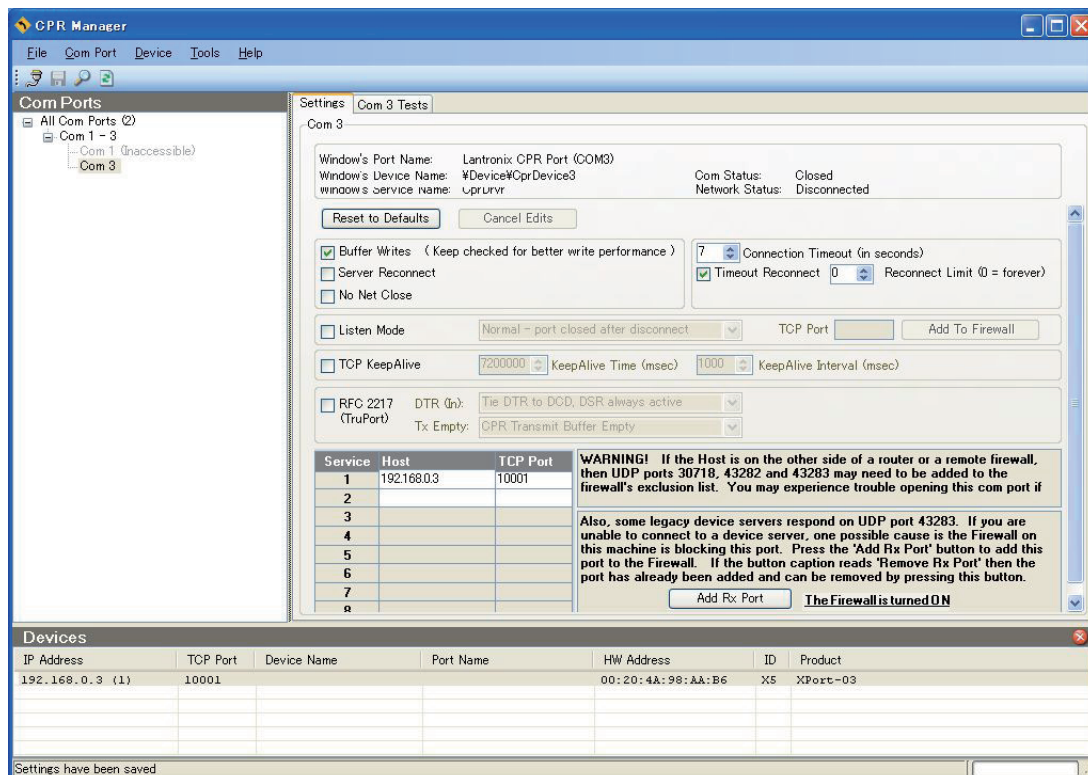
- ⑱ 左から 2 番目の  「Save Setting」アイコンをクリックし設定を保存します。



- ⑲ 確認メッセージが表示されますので、「はい (Y)」をクリックし保存します。



- ⑳ 設定が保存されると、赤文字の部分が黒文字に変わります。



- ㉑ 「4. 仮想 COM の設定」(P.20)の手順「⑮～⑰」を参照し、同様の方法で通信接続の確認を行ってください。

- ㉒ 以上の設定が正しく行われ、接続が確実になったことを確認の上、1 台目の QT-A コントローラを HUB に接続してください。

以上で 1 台目、2 台目のコントローラが制御可能になります。さらにコントローラを LAN に増設する場合も、新たに増設するコントローラ 1 台ずつを接続して、この項の手順「①～㉒」をくり返してください。

WEB マネージャ (Device Server Configuration Manager) で、 IP アドレスを変更する際のご注意

本書の設定手順では、パソコンおよび QT-A コントローラの設定は下表とおりです。

デバイス	IP Address	Subnet Mask
パソコン	192.168.0.1	255.255.255.0
QT-A コントローラ [1 台目]	192.168.0.2	
QT-A コントローラ [2 台目]	192.168.0.3	

さらに LMC-A コントローラを複数台接続する場合には、同じ IP アドレスが使用できません (IP アドレスが重複すると接続できなくなります)。これを防止するために上記以外のアドレスを指定する必要があります。

IP Address には、以下のプライベート IP アドレス (ネットワークアドレスとして自由に使用できるアドレス) を使用することをお勧めします。

192.168.0.1 ~ 192.168.0.254 (Subnet Mask は 255.255.255.0 のみ)

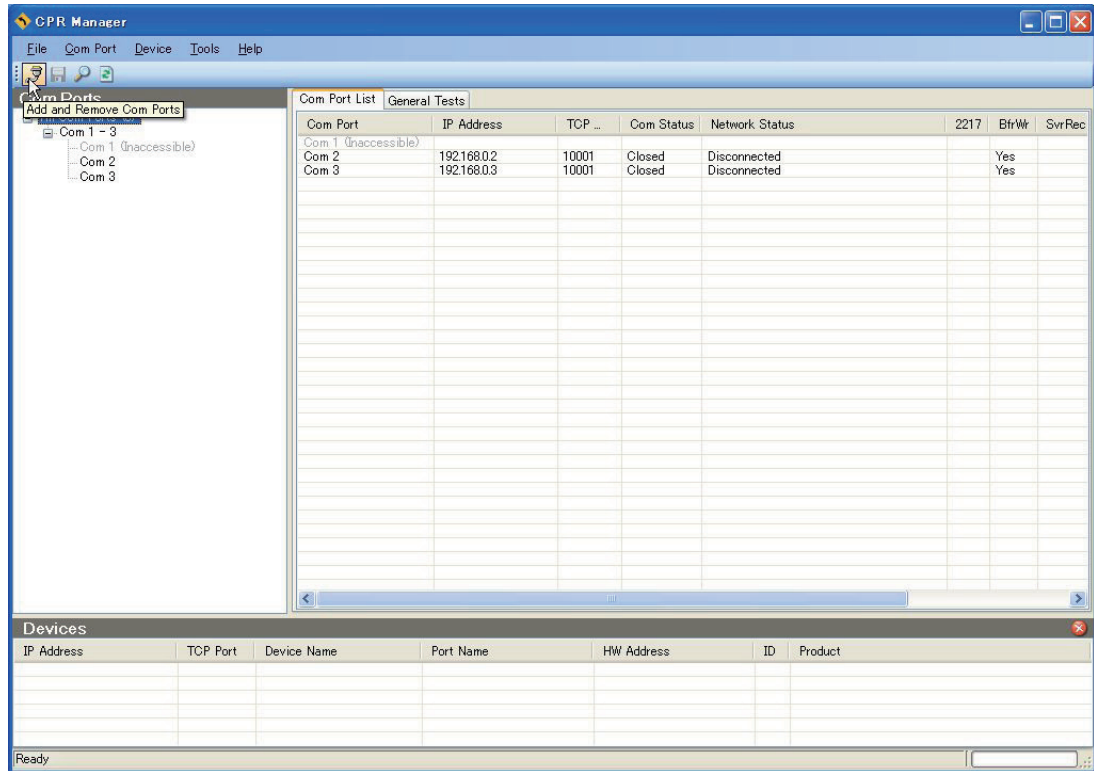
注意

上記に示すプライベート IP アドレスで接続したものがサポート対象で、パソコン 1 台から HUB を経由し QT-A コントローラへの接続のみとなります。HUB を経由し他の機器が接続されている場合、お客様のネットワーク環境での接続、インターネット経由の接続、ネットワークの構築等についてのお問い合わせ、サポートには一切応じられませんので、ご了承ください。

7 仮想 Com ポートの削除

仮想 Com ポートを削除する場合は、必ず、電源が「ON」となった QT-A コントローラとパソコンが接続されている状態で行ってください。

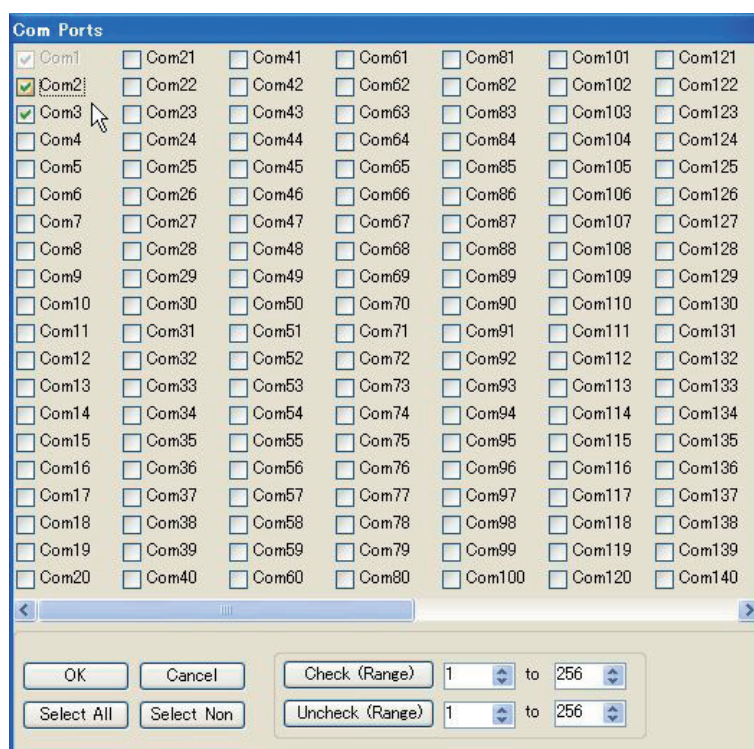
- ① 「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「Lantronix」 → 「CPR」 - 「CPR Manager」の順で、「CPR Manager」を起動します。



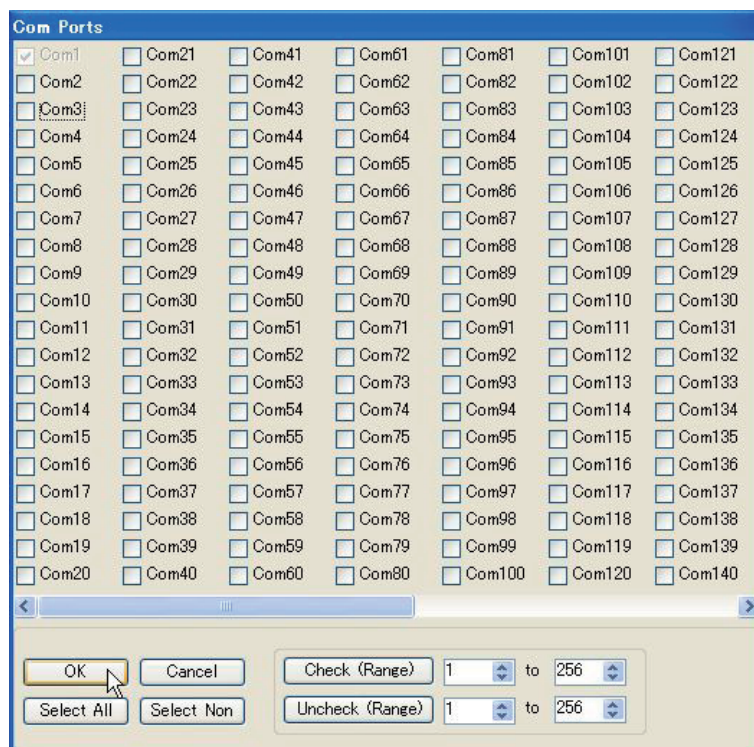
左から 1 番目の  「Add and Remove Com Port」アイコンをクリックします。



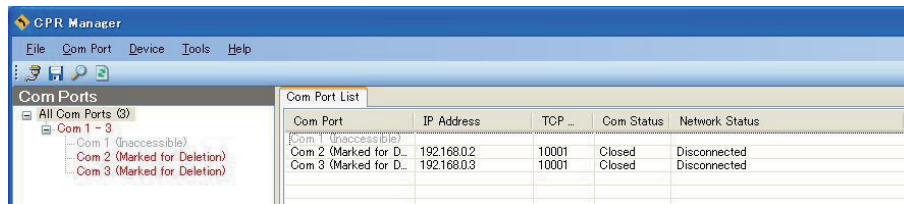
- ② Com Ports の一覧が表示されますので、削したい Com ナンバーのチェックマークを外してください。ここでは、Com2 と Com3 を同時に削除する例で説明します。



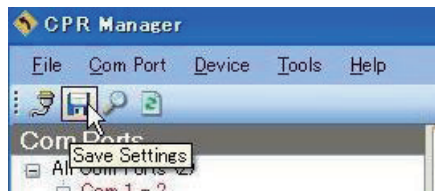
- ③ Com2 と Com3 のチェックを外し、「OK」をクリックします。



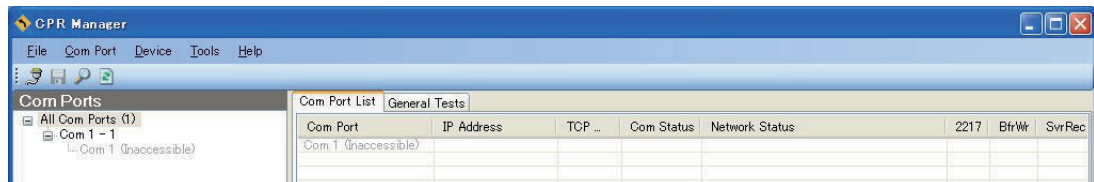
- ④ 次の画面が表示され、チェックマークを外した Com2 と Com3 の文字が赤くなります。



- ⑤ 左から 2 番目の  「Save Setting」アイコンをクリックし設定を保存します。



- ⑥ Com2 と Com3 が削除された画面が表示されます。CPR Manager を終了してください。



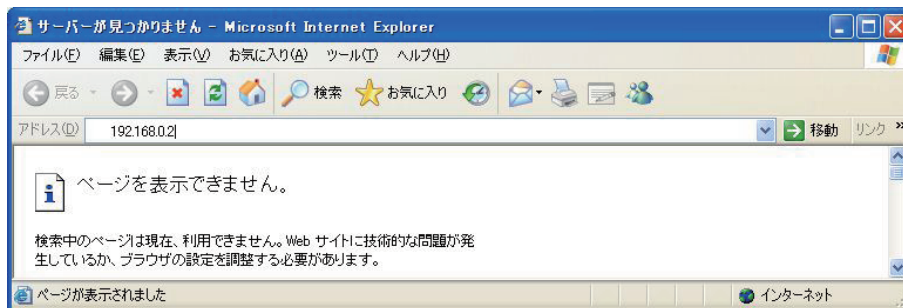
8 ボーレート変更

QT-A コントローラのパラメータ No.53 (RS-232C 通信設定) の設定変更をした場合、LAN ポート側の設定をパラメータ No.53 (RS-232C 通信設定) に合わせる必要があります。

以下の手順で、LAN ポート (XPort) の設定を変更してください。

- ① インターネットエクスプローラを起動し、「アドレス (D)」の右側の枠にキーボードから、IP アドレス (接続されている QT-A コントローラに設定されている IP アドレス) を入力し「Enter」キーを押します。

接続されている QT-A コントローラに「192.168.0.2」の IP アドレスが設定され、パラメータ No.53 のボーレートを「9600bps」から「38400bps」に設定変更する場合を例に説明いたします。



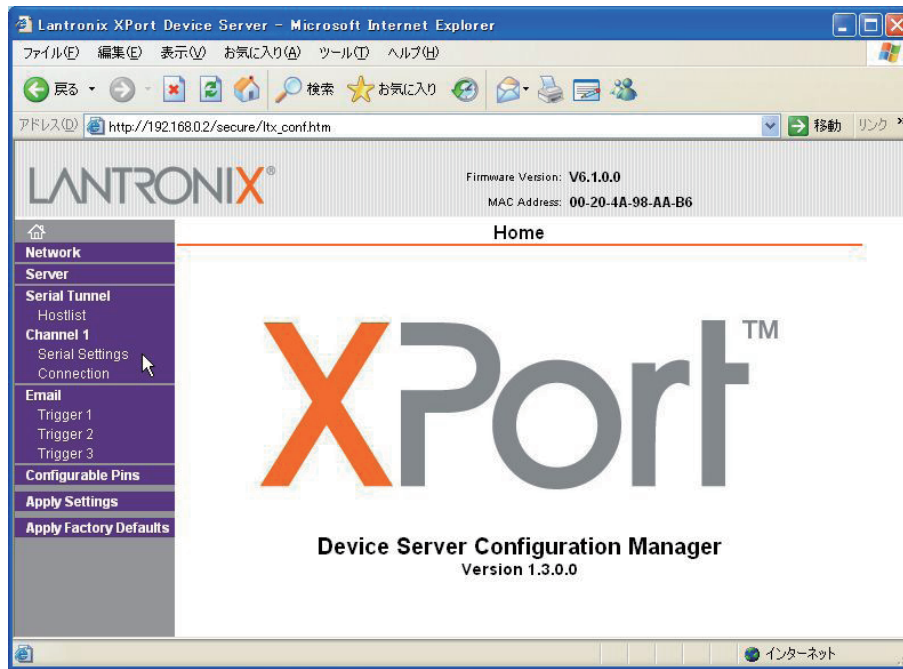
- ② 次の画面が表示されます。「ユーザ名 (U)」と「パスワード (P)」、および、「パスワードを記憶する (R)」は空白のまま何もせず、「OK」をクリックします。

⚠ 注意

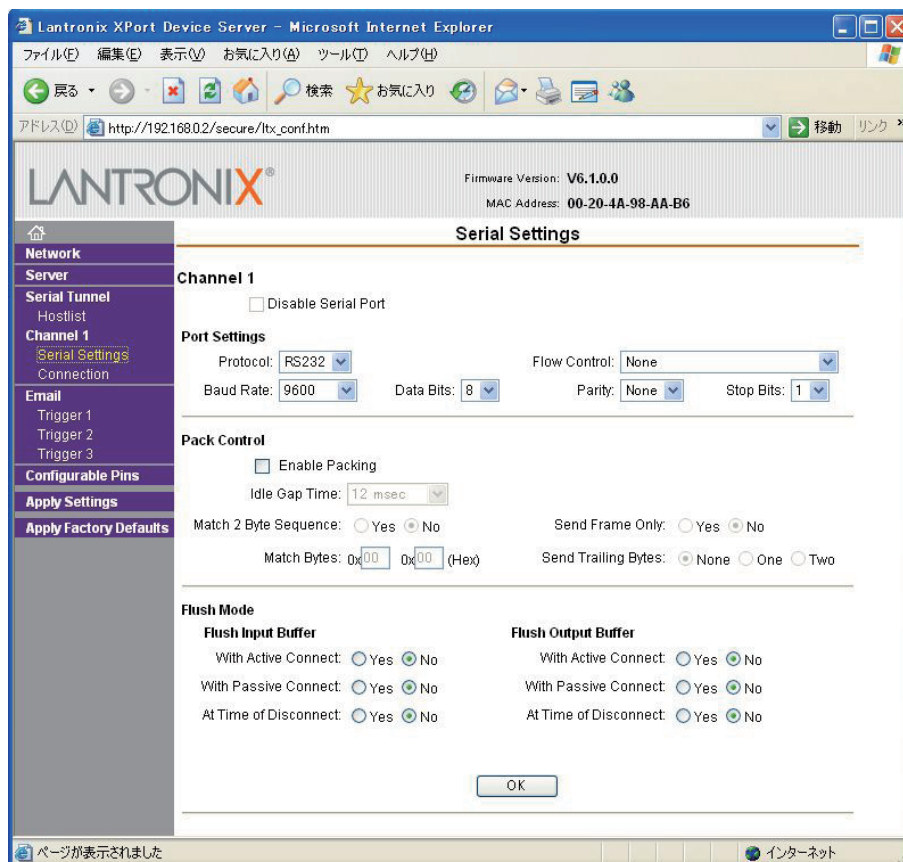
- 「ユーザ名 (U)」と「パスワード (P)」、および、「パスワードを記憶する (R)」を変更し、「OK」をクリックすると、修復ができなくなりますので絶対に変更しないでください。
- パスワードを設定変更し「OK」をクリックして、万一そのパスワードを忘れてしまった場合、当社ではパスワードの解析はできません。また、工場出荷状態に戻すことも不可能となります。このような場合の修理については、保証対象外となるばかりでなく修理自体をお断りする場合があります。



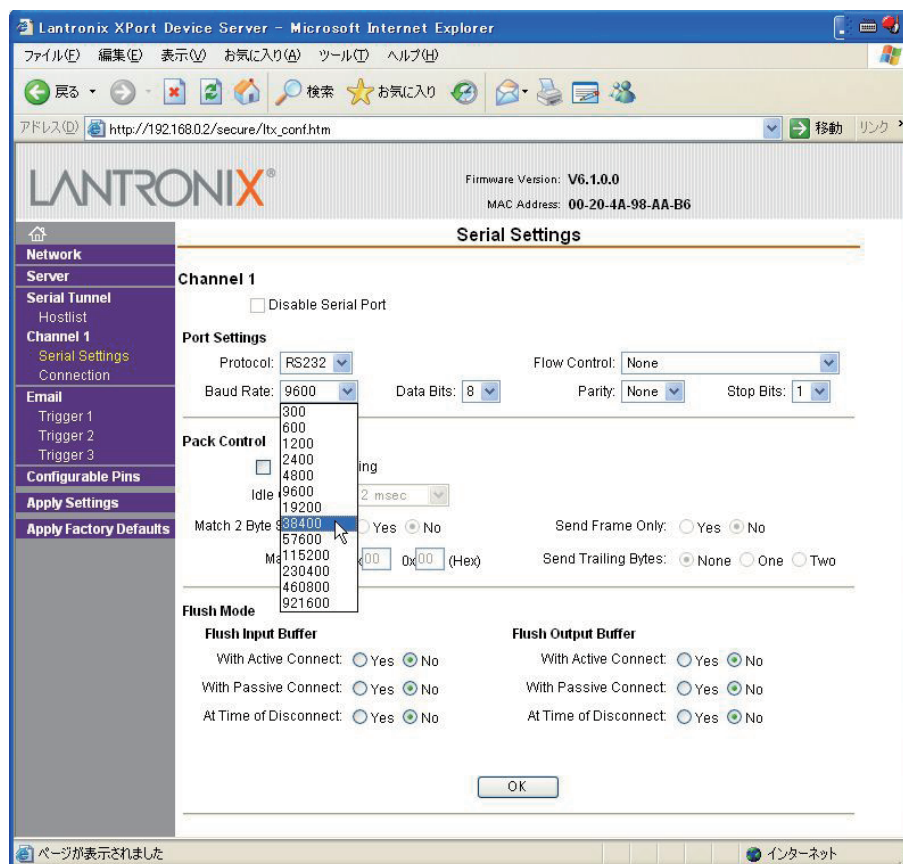
- ③ XPort の設定画面 (Device Server Configuration Manager) が起動します。



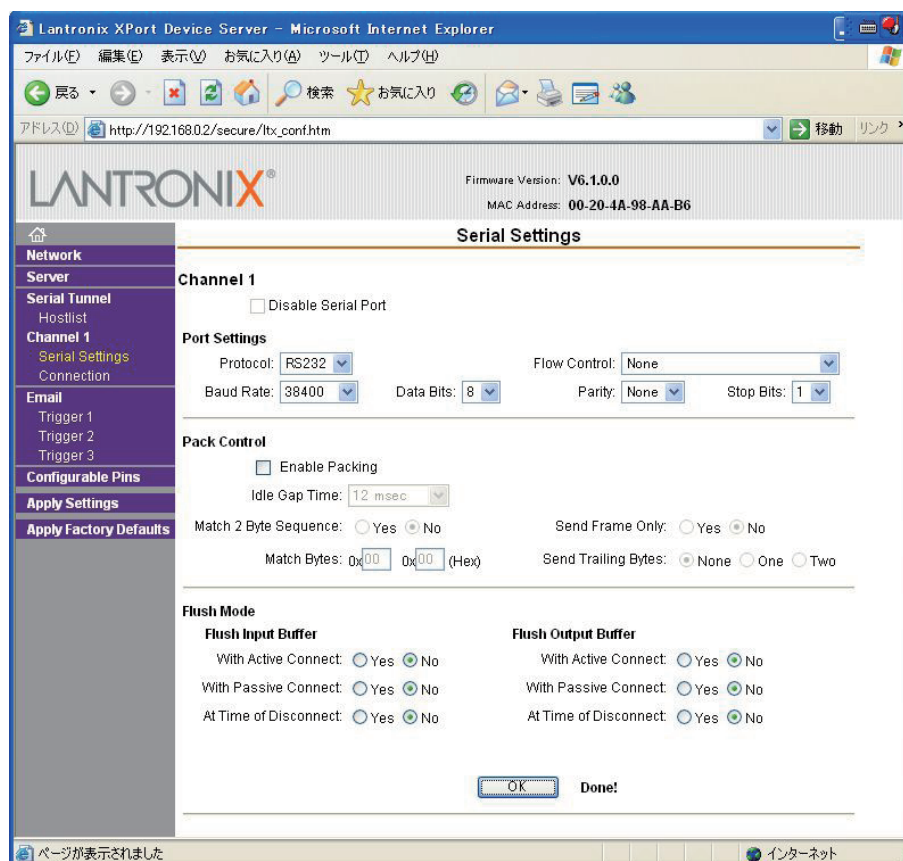
- ④ 左側のメニューの「Serial Stttings」をクリックすると、次の画面が表示されます。



- ⑤ 「Baud Rate」をクリックし、プルダウンメニューから「38400」を選択します。



- ⑥ 「Baud Rate」の設定を 38400 に変更し、最下段の「OK」をクリックすると「Done!」が表示されます。

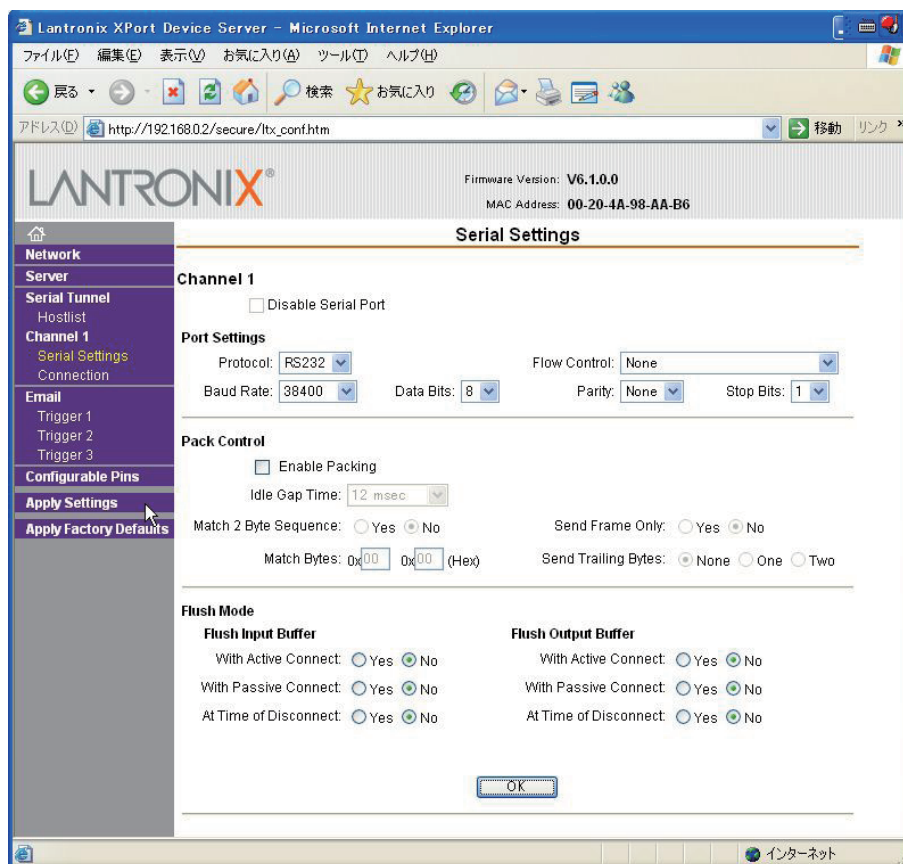


⑦ 設定値を XPort 内のフラッシュメモリに書き込みます。

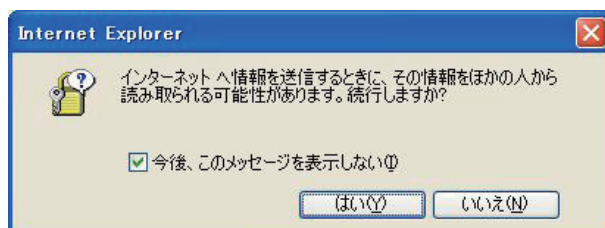
設定値を XPort 内のフラッシュメモリに書き込むには、左側のメニューの「Apply settings」をクリックします。

⚠ 注意

変更した設定値を XPort 内のフラッシュメモリに書き込む作業を行いますが、書き込み方法を誤った場合や失敗した場合、元に戻すことができなくなりますので十分注意してください。
書き込み方法を誤り復元できなくなった場合の修復は、保証対象外とさせていただきます。



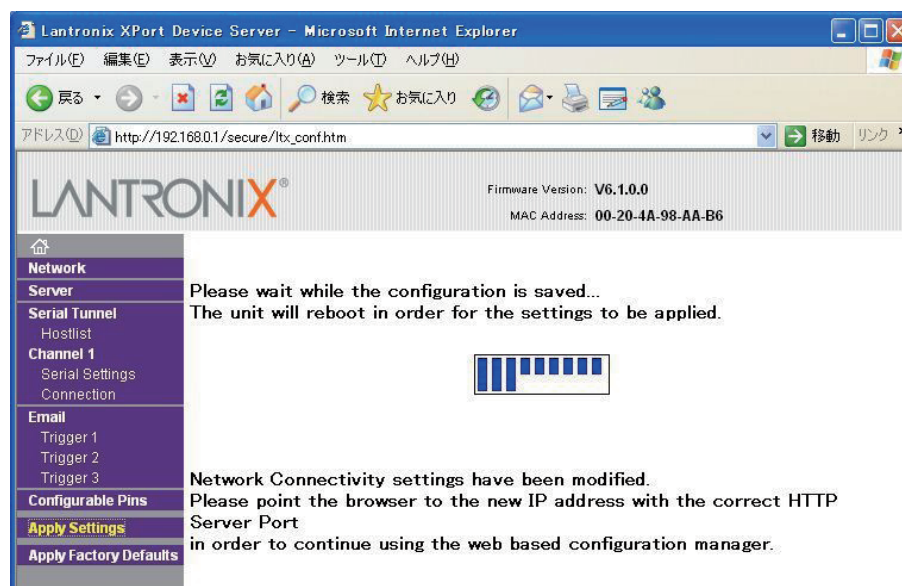
次のメッセージが表示される場合がありますが、「はい (Y)」を押し続行してください。



⑧ 次の画面が表示され、書込みが始まります。

画面下に「Network Connctivity settings have been modified. Please point the browser to the new IP address with the correct HTTP server Port in order to continue using web based configuration manager.」が表示されたらフラッシュメモリへの書込みが完了です。

インターネットエクスプローラを終了してください。



本書に記載された内容は予告無しに変更する場合がありますのでご了承ください。また、製品やソフトウェアについても改良のため予告無しに変更することがありますのでご了承ください。

QT-A コントローラ用 LAN 設定ガイド Ver. 1.3

2014/10/10 ADV.



中央精機株式会社

本社営業部 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-5 及川ビル 3F
TEL. 03-3257-1911 FAX.03-3257-1915